



API リファレンス

IAM Access Analyzer



API バージョン 2019-11-01

Copyright © 2024 Amazon Web Services, Inc. and/or its affiliates. All rights reserved.

IAM Access Analyzer: API リファレンス

Copyright © 2024 Amazon Web Services, Inc. and/or its affiliates. All rights reserved.

Amazon の商標およびトレードドレスは、お客様に混乱を招く可能性がある態様、または Amazon の信用を傷つけたり、失わせたりする態様において、Amazon のものではない製品またはサービスに関連して使用してはなりません。Amazon が所有していない他のすべての商標は、それぞれの所有者の所有物であり、Amazon と提携、接続、または後援されている場合とされていない場合があります。

Table of Contents

ようこそ	1
アクション	2
ApplyArchiveRule	4
リクエストの構文	4
URI リクエストパラメータ	4
リクエストボディ	4
レスポンスの構文	5
レスポンス要素	5
エラー	5
以下の資料も参照してください。	6
CancelPolicyGeneration	7
リクエストの構文	7
URI リクエストパラメータ	7
リクエストボディ	7
レスポンスの構文	7
レスポンス要素	7
エラー	7
その他の参照資料	8
CheckAccessNotGranted	9
リクエストの構文	9
URI リクエストパラメータ	9
リクエストボディ	9
レスポンスの構文	10
レスポンス要素	10
エラー	11
以下の資料も参照してください。	12
CheckNoNewAccess	13
リクエストの構文	13
URI リクエストパラメータ	13
リクエストボディ	13
レスポンスの構文	14
レスポンス要素	14
エラー	15
以下の資料も参照してください。	16

CreateAccessPreview	17
リクエストの構文	17
URI リクエストパラメータ	17
リクエストボディ	17
レスポンスの構文	18
レスポンス要素	18
エラー	18
以下の資料も参照してください。	19
CreateAnalyzer	21
リクエストの構文	21
URI リクエストパラメータ	21
リクエストボディ	21
レスポンスの構文	23
レスポンス要素	23
エラー	24
以下の資料も参照してください。	24
CreateArchiveRule	26
リクエストの構文	26
URI リクエストパラメータ	26
リクエストボディ	27
レスポンスの構文	27
レスポンス要素	27
エラー	27
その他の参照資料	28
DeleteAnalyzer	30
リクエストの構文	30
URI リクエストパラメータ	30
リクエスト本文	30
レスポンスの構文	30
レスポンス要素	30
エラー	31
その他の参照資料	31
DeleteArchiveRule	33
リクエストの構文	33
URI リクエストパラメータ	33
リクエストボディ	33

レスポンスの構文	33
レスポンス要素	34
エラー	34
その他の参照資料	34
GetAccessPreview	36
リクエストの構文	36
URI リクエストパラメータ	36
リクエストボディ	36
レスポンスの構文	36
レスポンス要素	37
エラー	37
その他の参照資料	38
GetAnalyzedResource	39
リクエストの構文	39
URI リクエストパラメータ	39
リクエストボディ	39
レスポンスの構文	39
レスポンス要素	40
エラー	40
その他の参照資料	41
GetAnalyzer	42
リクエストの構文	42
URI リクエストパラメータ	42
リクエストボディ	42
レスポンスの構文	42
レスポンス要素	43
エラー	43
その他の参照資料	44
GetArchiveRule	45
リクエストの構文	45
URI リクエストパラメータ	45
リクエストボディ	45
レスポンスの構文	45
レスポンス要素	46
エラー	46
その他の参照資料	47

GetFinding	48
リクエストの構文	48
URI リクエストパラメータ	48
リクエストボディ	48
レスポンスの構文	48
レスポンス要素	49
エラー	49
その他の参照資料	50
GetFindingV2	52
リクエストの構文	52
URI リクエストパラメータ	52
リクエスト本文	52
レスポンスの構文	53
レスポンス要素	53
エラー	55
その他の参照資料	56
GetGeneratedPolicy	57
リクエストの構文	57
URI リクエストパラメータ	57
リクエストボディ	57
レスポンスの構文	58
レスポンス要素	58
エラー	59
その他の参照資料	59
ListAccessPreviewFindings	61
リクエストの構文	61
URI リクエストパラメータ	61
リクエストボディ	61
レスポンスの構文	62
レスポンス要素	63
エラー	64
その他の参照資料	64
ListAccessPreviews	66
リクエストの構文	66
URI リクエストパラメータ	66
リクエスト本文	66

レスポンスの構文	66
レスポンス要素	67
エラー	67
その他の参照資料	68
ListAnalyzedResources	69
リクエストの構文	69
URI リクエストパラメータ	69
リクエストボディ	69
レスポンスの構文	70
レスポンス要素	70
エラー	71
以下の資料も参照してください。	72
ListAnalyzers	73
リクエストの構文	73
URI リクエストパラメータ	73
リクエスト本文	73
レスポンスの構文	73
レスポンス要素	74
エラー	74
その他の参照資料	75
ListArchiveRules	76
リクエストの構文	76
URI リクエストパラメータ	76
リクエスト本文	76
レスポンスの構文	76
レスポンス要素	77
エラー	77
その他の参照資料	78
ListFindings	79
リクエストの構文	79
URI リクエストパラメータ	79
リクエストボディ	79
レスポンスの構文	80
レスポンス要素	81
エラー	82
以下の資料も参照してください。	82

ListFindingsV2	84
リクエストの構文	84
URI リクエストパラメータ	84
リクエストボディ	84
レスポンスの構文	85
レスポンス要素	86
エラー	86
以下の資料も参照してください。	87
ListPolicyGenerations	88
リクエストの構文	88
URI リクエストパラメータ	88
リクエストボディ	88
レスポンスの構文	88
レスポンス要素	89
エラー	89
その他の参照資料	90
ListTagsForResource	91
リクエストの構文	91
URI リクエストパラメータ	91
リクエストボディ	91
レスポンスの構文	91
レスポンス要素	91
エラー	92
その他の参照資料	92
StartPolicyGeneration	94
リクエストの構文	94
URI リクエストパラメータ	94
リクエストボディ	94
レスポンスの構文	95
レスポンス要素	95
エラー	96
以下の資料も参照してください。	97
StartResourceScan	98
リクエストの構文	98
URI リクエストパラメータ	98
リクエストボディ	98

レスポンスの構文	99
レスポンス要素	99
エラー	99
以下の資料も参照してください。	100
TagResource	101
リクエストの構文	101
URI リクエストパラメータ	101
リクエストボディ	101
レスポンスの構文	101
レスポンス要素	102
エラー	102
その他の参照資料	102
UntagResource	104
リクエストの構文	104
URI リクエストパラメータ	104
リクエストボディ	104
レスポンスの構文	104
レスポンス要素	104
エラー	104
その他の参照資料	105
UpdateArchiveRule	107
リクエストの構文	107
URI リクエストパラメータ	107
リクエストボディ	108
レスポンスの構文	108
レスポンス要素	108
エラー	108
その他の参照資料	109
UpdateFindings	110
リクエストの構文	110
URI リクエストパラメータ	110
リクエストボディ	110
レスポンスの構文	111
レスポンス要素	111
エラー	111
以下の資料も参照してください。	112

ValidatePolicy	114
リクエストの構文	114
URI リクエストパラメータ	114
リクエストボディ	114
レスポンスの構文	116
レスポンス要素	117
エラー	117
その他の参照資料	118
データ型	119
Access	122
目次	122
以下の資料も参照してください。	122
AccessPreview	123
目次	123
以下の資料も参照してください。	124
AccessPreviewFinding	125
目次	125
以下の資料も参照してください。	128
AccessPreviewStatusReason	129
目次	129
以下の資料も参照してください。	129
AccessPreviewSummary	130
目次	130
以下の資料も参照してください。	131
AclGrantee	132
目次	132
以下の資料も参照してください。	132
AnalyzedResource	133
目次	133
以下の資料も参照してください。	135
AnalyzedResourceSummary	136
目次	136
以下の資料も参照してください。	136
AnalyzerConfiguration	138
目次	138
以下の資料も参照してください。	138

AnalyzerSummary	139
目次	139
以下の資料も参照してください。	141
ArchiveRuleSummary	142
目次	142
以下の資料も参照してください。	142
CloudTrailDetails	144
目次	144
以下の資料も参照してください。	145
CloudTrailProperties	146
目次	146
以下の資料も参照してください。	146
Configuration	148
目次	148
以下の資料も参照してください。	150
Criterion	151
目次	151
以下の資料も参照してください。	152
EbsSnapshotConfiguration	153
目次	153
以下の資料も参照してください。	154
EcrRepositoryConfiguration	155
目次	155
以下の資料も参照してください。	155
EfsFileSystemConfiguration	156
目次	156
以下の資料も参照してください。	156
ExternalAccessDetails	157
目次	157
以下の資料も参照してください。	158
Finding	159
目次	159
以下の資料も参照してください。	161
FindingDetails	163
目次	163
以下の資料も参照してください。	164

FindingSource	165
目次	165
以下の資料も参照してください。	165
FindingSourceDetail	166
目次	166
以下の資料も参照してください。	166
FindingSummary	167
目次	167
以下の資料も参照してください。	169
FindingSummaryV2	171
目次	171
以下の資料も参照してください。	173
GeneratedPolicy	174
目次	174
以下の資料も参照してください。	174
GeneratedPolicyProperties	175
目次	175
以下の資料も参照してください。	175
GeneratedPolicyResult	177
目次	177
以下の資料も参照してください。	177
IamRoleConfiguration	178
目次	178
以下の資料も参照してください。	178
InlineArchiveRule	179
目次	179
以下の資料も参照してください。	179
InternetConfiguration	180
目次	180
以下の資料も参照してください。	180
JobDetails	181
目次	181
以下の資料も参照してください。	182
JobError	183
目次	183
以下の資料も参照してください。	183

KmsGrantConfiguration	184
目次	184
以下の資料も参照してください。	185
KmsGrantConstraints	186
目次	186
以下の資料も参照してください。	186
KmsKeyConfiguration	188
目次	188
以下の資料も参照してください。	188
Location	190
目次	190
以下の資料も参照してください。	190
NetworkOriginConfiguration	191
目次	191
以下の資料も参照してください。	191
PathElement	193
目次	193
以下の資料も参照してください。	194
PolicyGeneration	195
目次	195
以下の資料も参照してください。	196
PolicyGenerationDetails	197
目次	197
以下の資料も参照してください。	197
Position	198
目次	198
以下の資料も参照してください。	198
RdsDbClusterSnapshotAttributeValue	199
目次	199
以下の資料も参照してください。	199
RdsDbClusterSnapshotConfiguration	201
目次	201
以下の資料も参照してください。	201
RdsDbSnapshotAttributeValue	203
目次	203
以下の資料も参照してください。	203

RdsDbSnapshotConfiguration	205
目次	205
以下の資料も参照してください。	205
ReasonSummary	207
目次	207
以下の資料も参照してください。	207
S3AccessPointConfiguration	208
目次	208
以下の資料も参照してください。	209
S3BucketAclGrantConfiguration	210
目次	210
以下の資料も参照してください。	210
S3BucketConfiguration	211
目次	211
以下の資料も参照してください。	212
S3ExpressDirectoryBucketConfiguration	213
目次	213
以下の資料も参照してください。	213
S3PublicAccessBlockConfiguration	214
目次	214
以下の資料も参照してください。	214
SecretsManagerSecretConfiguration	215
目次	215
以下の資料も参照してください。	215
SnsTopicConfiguration	217
目次	217
以下の資料も参照してください。	217
SortCriteria	218
目次	218
以下の資料も参照してください。	218
Span	219
目次	219
以下の資料も参照してください。	219
SqsQueueConfiguration	220
目次	220
以下の資料も参照してください。	220

StatusReason	221
目次	221
以下の資料も参照してください。	221
Substring	222
目次	222
以下の資料も参照してください。	222
Trail	223
目次	223
以下の資料も参照してください。	223
TrailProperties	225
目次	225
以下の資料も参照してください。	225
UnusedAccessConfiguration	227
目次	227
以下の資料も参照してください。	227
UnusedAction	228
目次	228
以下の資料も参照してください。	228
UnusedIamRoleDetails	229
目次	229
以下の資料も参照してください。	229
UnusedIamUserAccessKeyDetails	230
目次	230
以下の資料も参照してください。	230
UnusedIamUserPasswordDetails	231
目次	231
以下の資料も参照してください。	231
UnusedPermissionDetails	232
目次	232
以下の資料も参照してください。	232
ValidatePolicyFinding	234
目次	234
以下の資料も参照してください。	235
ValidationExceptionField	236
目次	236
以下の資料も参照してください。	236

VpcConfiguration	237
目次	237
以下の資料も参照してください。	237
共通パラメータ	238
共通エラー	241
.....	ccxliv

ようこそ

AWS Identity and Access Management Access Analyzer は、一連の機能を提供することで、IAM ポリシーを設定、検証、および絞り込むのに役立ちます。その機能には、外部アクセスと未使用のアクセスに関する結果、ポリシーを検証するための基本的なポリシーチェックとカスタムポリシーチェック、きめ細かなポリシーを生成するためのポリシー生成が含まれます。IAM Access Analyzer を使用して外部アクセスまたは未使用のアクセスを識別するには、まずアナライザーを作成する必要があります。

外部アクセスアナライザーを使用すると、外部プリンシパルへのアクセスを許可するリソースポリシーを特定できるため、リソースにアクセスする潜在的なリスクを特定できます。これを行うには、ロジックベースの推論を使用して、AWS 環境内のリソースベースのポリシーを分析します。外部プリンシパルは、別の AWS アカウント、ルートユーザー、IAM ユーザーまたはロール、フェデレーションユーザー、AWS サービス、または匿名ユーザーです。IAM Access Analyzer を使用して、アクセス許可の変更をデプロイする前に、リソースへのパブリックアクセスとクロスアカウントアクセスをプレビューすることもできます。

未使用のアクセスアナライザーを使用すると、未使用の IAM ロール、未使用のアクセスキー、未使用のコンソールパスワード、および未使用のサービスおよびアクションレベルのアクセス許可を持つ IAM プリンシパルを特定できるため、潜在的な ID アクセスリスクを特定できます。

検出結果以外にも、IAM Access Analyzer は、アクセス許可の変更をデプロイする前に IAM ポリシーを検証するための基本的なポリシーチェックとカスタムポリシーチェックを提供します。ポリシー生成を使用して、CloudTrail ログに記録されているアクセスアクティビティを使用して生成されたポリシーをアタッチすることで、アクセス許可を絞り込むことができます。

このガイドでは、プログラムで呼び出すことができる IAM Access Analyzer オペレーションについて説明します。IAM Access Analyzer の一般的な情報については、「IAM ユーザーガイド [AWS Identity and Access Management Access Analyzer](#)」の「」を参照してください。

このドキュメントは、2024 年 3 月 9 日に最後に公開されました。

アクション

以下のアクションがサポートされています:

- [ApplyArchiveRule](#)
- [CancelPolicyGeneration](#)
- [CheckAccessNotGranted](#)
- [CheckNoNewAccess](#)
- [CreateAccessPreview](#)
- [CreateAnalyzer](#)
- [CreateArchiveRule](#)
- [DeleteAnalyzer](#)
- [DeleteArchiveRule](#)
- [GetAccessPreview](#)
- [GetAnalyzedResource](#)
- [GetAnalyzer](#)
- [GetArchiveRule](#)
- [GetFinding](#)
- [GetFindingV2](#)
- [GetGeneratedPolicy](#)
- [ListAccessPreviewFindings](#)
- [ListAccessPreviews](#)
- [ListAnalyzedResources](#)
- [ListAnalyzers](#)
- [ListArchiveRules](#)
- [ListFindings](#)
- [ListFindingsV2](#)
- [ListPolicyGenerations](#)
- [ListTagsForResource](#)
- [StartPolicyGeneration](#)
- [StartResourceScan](#)

- [TagResource](#)
- [UntagResource](#)
- [UpdateArchiveRule](#)
- [UpdateFindings](#)
- [ValidatePolicy](#)

ApplyArchiveRule

アーカイブルール基準を満たす既存の結果にアーカイブルールを遡及的に適用します。

リクエストの構文

```
PUT /archive-rule HTTP/1.1
Content-type: application/json

{
  "analyzerArn": "string",
  "clientToken": "string",
  "ruleName": "string"
}
```

URI リクエストパラメータ

リクエストでは URI パラメータを使用しません。

リクエストボディ

リクエストは以下の JSON 形式のデータを受け入れます。

[analyzerArn](#)

アナライザーの Amazon リソースネーム (ARN)。

型: 文字列

Pattern: `^[^:]*:[^:]*:[^:]*:[^:]*:[^:]*:analyzer/.{1,255}`

必須: はい

[clientToken](#)

クライアントトークン。

型: 文字列

必須: いいえ

[ruleName](#)

適用するルールの名前。

型: 文字列

長さの制限: 最小長は 1 です。最大長は 255 です。

パターン: [A-Za-z][A-Za-z0-9_.-]*

必須: はい

レスポンスの構文

```
HTTP/1.1 200
```

レスポンス要素

アクションが成功した場合、サービスは空の HTTP 本文を持つ HTTP 200 応答を返します。

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[共通エラー](#)」を参照してください。

AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権がありません。

HTTP ステータスコード: 403

InternalServerError

内部サーバーエラー。

HTTP ステータスコード: 500

ResourceNotFoundException

指定したリソースが見つかりませんでした。

HTTP ステータスコード: 404

ThrottlingException

スロットリング制限超過エラー。

HTTP ステータスコード: 429

ValidationException

検証例外エラー。

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDK のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK for .NET](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS JavaScript V3 用の SDK](#)
- [AWS SDK for PHP V3](#)
- [AWS SDK for Python](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

CancelPolicyGeneration

リクエストされたポリシーの生成をキャンセルします。

リクエストの構文

```
PUT /policy/generation/jobId HTTP/1.1
```

URI リクエストパラメータ

リクエストでは、次の URI パラメータを使用します。

[jobId](#)

StartPolicyGeneration オペレーションによって返JobIdされる。は、 と共に使用GetGeneratedPolicyして生成されたポリシーを取得するか、 と共に使用CancelPolicyGenerationしてポリシー生成リクエストをキャンセルJobIdできます。

必須: はい

リクエストボディ

リクエストにリクエスト本文がありません。

レスポンスの構文

```
HTTP/1.1 200
```

レスポンス要素

アクションが成功した場合、サービスは空の HTTP 本文を持つ HTTP 200 レスポンスを返します。

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[共通エラー](#)」を参照してください。

AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権限がありません。

HTTP ステータスコード: 403

InternalServerError

内部サーバーエラー。

HTTP ステータスコード : 500

ThrottlingException

スロットリング制限を超えたエラー。

HTTP ステータスコード: 429

ValidationException

検証例外エラー。

HTTP ステータスコード : 400

その他の参照資料

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK for .NET](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK for PHP V3](#)
- [AWS SDK for Python](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

CheckAccessNotGranted

指定されたアクセスがポリシーによって許可されていないかどうかを確認します。

リクエストの構文

```
POST /policy/check-access-not-granted HTTP/1.1
Content-type: application/json
```

```
{
  "access": [
    {
      "actions": [ "string" ]
    }
  ],
  "policyDocument": "string",
  "policyType": "string"
}
```

URI リクエストパラメータ

リクエストでは URI パラメータを使用しません。

リクエストボディ

リクエストは以下の JSON 形式のデータを受け入れます。

access

指定されたポリシーによって付与してはいけない権限を含むアクセスオブジェクト。

型: [Access](#) オブジェクトの配列

配列メンバー: 最小数は 0 項目です。最大数は 1 項目です。

必須: はい

policyDocument

ポリシーのコンテンツとして使用する JSON ポリシードキュメント。

型: 文字列

必須: はい

policyType

ポリシーのタイプ。ID ポリシーは IAM プリンシパルにアクセス権限を付与します。ID ポリシーには、IAM ロール、ユーザー、グループの管理ポリシーとインラインポリシーが含まれます。

リソースポリシーは、AWSリソースに対するアクセス権限を付与します。リソースポリシーには、IAM ロールの信頼ポリシーと Amazon S3 バケットのバケットポリシーが含まれます。ID ポリシーやリソースポリシーなどの一般的な入力、または管理ポリシーや Amazon S3 バケットポリシーなどの特定の入力を指定できます。

タイプ: 文字列

有効な値: IDENTITY_POLICY | RESOURCE_POLICY

必須: はい

レスポンスの構文

```
HTTP/1.1 200
Content-type: application/json

{
  "message": "string",
  "reasons": [
    {
      "description": "string",
      "statementId": "string",
      "statementIndex": number
    }
  ],
  "result": "string"
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

message

指定したアクセスが許可されているかどうかを示すメッセージ。

型: 文字列

reasons

結果の理由の説明。

型: [ReasonSummary](#) オブジェクトの配列

result

アクセスが許可されているかどうかのチェック結果。結果が「はい」の場合PASS、指定されたポリシーはアクセスオブジェクト内の指定された権限を一切許可しません。その結果FAIL、指定されたポリシーがアクセスオブジェクト内の権限の一部またはすべてを許可する可能性があります。

タイプ: 文字列

有効な値: PASS | FAIL

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[共通エラー](#)」を参照してください。

AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権限がありません。

HTTP ステータスコード: 403

InternalServerError

内部サーバーエラー。

HTTP ステータスコード: 500

InvalidParameterException

指定されたパラメータは無効です。

HTTP ステータスコード: 400

ThrottlingException

スロットリング制限超過エラー。

HTTP ステータスコード: 429

UnprocessableEntityException

指定されたエンティティは処理できませんでした。

HTTP ステータスコード:422

ValidationException

検証例外エラー。

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDK のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK for .NET](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS JavaScript V3 用の SDK](#)
- [AWS SDK for PHP V3](#)
- [AWS SDK for Python](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

CheckNoNewAccess

既存のポリシーと比較して、更新されたポリシーに対して新しいアクセスが許可されるかどうかをチェックします。

参照ポリシーの例や、新しいアクセスに対するカスタムポリシーチェックの設定と実行方法については、[IAM Access Analyzer のカスタムポリシーチェックサンプルリポジトリを参照してください](#)。GitHubこのリポジトリ内の参照ポリシーは、existingPolicyDocumentリクエストパラメータに渡すためのものです。

リクエストの構文

```
POST /policy/check-no-new-access HTTP/1.1
Content-type: application/json

{
  "existingPolicyDocument": "string",
  "newPolicyDocument": "string",
  "policyType": "string"
}
```

URI リクエストパラメータ

リクエストでは URI パラメータを使用しません。

リクエストボディ

リクエストは以下の JSON 形式のデータを受け入れます。

[existingPolicyDocument](#)

既存のポリシーのコンテンツとして使用する JSON ポリシードキュメント。

型: 文字列

必須: はい

[newPolicyDocument](#)

更新されたポリシーのコンテンツとして使用する JSON ポリシードキュメント。

型: 文字列

必須: はい

[policyType](#)

比較するポリシーのタイプ。ID ポリシーは IAM プリンシパルにアクセス権限を付与します。ID ポリシーには、IAM ロール、ユーザー、グループの管理ポリシーとインラインポリシーが含まれます。

リソースポリシーは、AWSリソースに対するアクセス権限を付与します。リソースポリシーには、IAM ロールの信頼ポリシーと Amazon S3 バケットのバケットポリシーが含まれます。ID ポリシーやリソースポリシーなどの一般的な入力、または管理ポリシーや Amazon S3 バケットポリシーなどの特定の入力を指定できます。

タイプ: 文字列

有効な値: IDENTITY_POLICY | RESOURCE_POLICY

必須: はい

レスポンスの構文

```
HTTP/1.1 200
Content-type: application/json

{
  "message": "string",
  "reasons": [
    {
      "description": "string",
      "statementId": "string",
      "statementIndex": number
    }
  ],
  "result": "string"
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

message

更新されたポリシーが新しいアクセスを許可するかどうかを示すメッセージ。

型: 文字列

reasons

結果の理由の説明。

型: [ReasonSummary](#) オブジェクトの配列

result

新規アクセスの確認結果。結果が「はい」の場合PASS、更新されたポリシーでは新しいアクセスは許可されません。その場合FAIL、更新されたポリシーによって新しいアクセスが許可される可能性があります。

タイプ: 文字列

有効な値: PASS | FAIL

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[共通エラー](#)」を参照してください。

AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権限がありません。

HTTP ステータスコード: 403

InternalServerError

内部サーバーエラー。

HTTP ステータスコード: 500

InvalidParameterException

指定されたパラメータは無効です。

HTTP ステータスコード: 400

ThrottlingException

スロットリング制限超過エラー。

HTTP ステータスコード: 429

UnprocessableEntityException

指定されたエンティティは処理できませんでした。

HTTP ステータスコード:422

ValidationException

検証例外エラー。

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDK のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK for .NET](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS JavaScript V3 用の SDK](#)
- [AWS SDK for PHP V3](#)
- [AWS SDK for Python](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

CreateAccessPreview

リソース権限をデプロイする前に、リソースの IAM Access Analyzer の結果をプレビューできるアクセスプレビューを作成します。

リクエストの構文

```
PUT /access-preview HTTP/1.1
Content-type: application/json
```

```
{
  "analyzerArn": "string",
  "clientToken": "string",
  "configurations": {
    "string" : { ... }
  }
}
```

URI リクエストパラメータ

リクエストでは URI パラメータを使用しません。

リクエストボディ

リクエストは以下の JSON 形式のデータを受け入れます。

analyzerArn

アクセスプレビューの生成に使用されたアカウントアナライザーの ARN。タイプとステータスのあるアナライザーのアクセスプレビューのみを作成できます。Account Active

型: 文字列

Pattern: `^[^:]*:[^:]*:[^:]*:[^:]*:[^:]*:analyzer/.{1,255}`

必須: はい

clientToken

クライアントトークン。

型: 文字列

必須: いいえ

[configurations](#)

アクセスプレビューの生成に使用されるリソースのアクセス制御設定。アクセスプレビューには、提案されたアクセス制御設定でリソースに許可された外部アクセスに関する結果が含まれます。構成には要素が 1 つだけ含まれている必要があります。

タイプ: [Configuration](#) オブジェクトマップへの文字列です。

必須: はい

レスポンスの構文

```
HTTP/1.1 200
Content-type: application/json

{
  "id": "string"
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

[id](#)

アクセスプレビューのユニーク ID。

型: 文字列

パターン: `[a-f0-9]{8}-[a-f0-9]{4}-[a-f0-9]{4}-[a-f0-9]{4}-[a-f0-9]{12}`

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[共通エラー](#)」を参照してください。

AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権限がありません。

HTTP ステータスコード: 403

ConflictException

コンフリクト例外エラー。

HTTP ステータスコード: 409

InternalServerErrorException

内部サーバーエラー。

HTTP ステータスコード: 500

ResourceNotFoundException

指定したリソースが見つかりませんでした。

HTTP ステータスコード: 404

ServiceQuotaExceededException

サービスクォータミートエラー。

HTTP ステータスコード: 402

ThrottlingException

スロットリング制限超過エラー。

HTTP ステータスコード: 429

ValidationException

検証例外エラー。

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDK のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK for .NET](#)

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS JavaScript V3 用の SDK](#)
- [AWS SDK for PHP V3](#)
- [AWS SDK for Python](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

CreateAnalyzer

アカウントのアナライザーを作成します。

リクエストの構文

```
PUT /analyzer HTTP/1.1
Content-type: application/json

{
  "analyzerName": "string",
  "archiveRules": [
    {
      "filter": {
        "string": {
          "contains": [ "string" ],
          "eq": [ "string" ],
          "exists": boolean,
          "neq": [ "string" ]
        }
      },
      "ruleName": "string"
    }
  ],
  "clientToken": "string",
  "configuration": { ... },
  "tags": {
    "string": "string"
  },
  "type": "string"
}
```

URI リクエストパラメータ

リクエストでは URI パラメータを使用しません。

リクエストボディ

リクエストは以下の JSON 形式のデータを受け入れます。

analyzerName

作成するアナライザーの名前。

型: 文字列

長さの制限: 最小長は 1 です。最大長は 255 です。

パターン: [A-Za-z][A-Za-z0-9_.-]*

必須: はい

archiveRules

アナライザー用に追加するアーカイブルールを指定します。アーカイブルールは、ルールに定義した条件を満たす結果を自動的にアーカイブします。

型: [InlineArchiveRule](#) オブジェクトの配列

必須: いいえ

clientToken

クライアントトークン。

型: 文字列

必須: いいえ

configuration

アナライザーの設定を指定します。アナライザーが未使用のアクセスアナライザーの場合、指定された範囲の未使用アクセスが設定に使用されます。アナライザーが外部アクセスアナライザーの場合、このフィールドは使用されません。

型: [AnalyzerConfiguration](#) オブジェクト

注: このオブジェクトは Union です。このオブジェクトのメンバーは 1 つだけ指定または取得できます。

必須: いいえ

tags

アナライザーに適用するキーと値のペアの配列。

型: 文字列間のマッピング

必須: いいえ

type

作成するアナライザーのタイ

プ。ACCOUNT、ORGANIZATIONACCOUNT_UNUSED_ACCESS、ORGANIZATION_UNUSED_ACCESSおよびアナライザーのみがサポートされます。1つのアカウント、1つのリージョンにつき1つのアナライザーしか作成できません。1つの組織、1つのリージョンにつき最大5つのアナライザーを作成できます。

タイプ: 文字列

有効な値: ACCOUNT | ORGANIZATION | ACCOUNT_UNUSED_ACCESS | ORGANIZATION_UNUSED_ACCESS

必須: はい

レスポンスの構文

```
HTTP/1.1 200
Content-type: application/json
```

```
{
  "arn": "string"
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

arn

リクエストによって作成されたアナライザーの ARN。

型: 文字列

パターン: `[^:]*:[^:]*:[^:]*:[^:]*:[^:]*:analyzer/.{1,255}`

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[共通エラー](#)」を参照してください。

AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権がありません。

HTTP ステータスコード: 403

ConflictException

コンフリクト例外エラー。

HTTP ステータスコード: 409

InternalServerErrorException

内部サーバーエラー。

HTTP ステータスコード: 500

ServiceQuotaExceededException

サービスクォータミートエラー。

HTTP ステータスコード: 402

ThrottlingException

スロットリング制限超過エラー。

HTTP ステータスコード: 429

ValidationException

検証例外エラー。

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDK のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)

- [AWS SDK for .NET](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS JavaScript V3 用の SDK](#)
- [AWS SDK for PHP V3](#)
- [AWS SDK for Python](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

CreateArchiveRule

指定されたアナライザーのアーカイブルールを作成します。アーカイブルールは、ルールの作成時に定義した基準を満たす新しい結果を自動的にアーカイブします。

アーカイブルールの作成に使用できるフィルターキーについては、[「IAM ユーザーガイド」の「IAM Access Analyzer フィルターキー」](#)を参照してください。

リクエストの構文

```
PUT /analyzer/analyzerName/archive-rule HTTP/1.1
Content-type: application/json
```

```
{
  "clientToken": "string",
  "filter": {
    "string" : {
      "contains": [ "string" ],
      "eq": [ "string" ],
      "exists": boolean,
      "neq": [ "string" ]
    }
  },
  "ruleName": "string"
}
```

URI リクエストパラメータ

リクエストでは、次の URI パラメータを使用します。

analyzerName

作成されたアナライザーの名前。

長さの制限：最小長は 1 です。最大長は 255 です。

パターン: [A-Za-z][A-Za-z0-9_.-]*

必須: はい

リクエストボディ

リクエストは以下の JSON 形式のデータを受け入れます。

clientToken

クライアントトークン。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

filter

ルールの基準。

タイプ: [Criterion](#) オブジェクトマップへの文字列です。

必須: はい

ruleName

作成するルールの名前。

型: 文字列

長さの制限: 最小長は 1 です。最大長は 255 です。

パターン: `[A-Za-z][A-Za-z0-9_.-]*`

必須: はい

レスポンスの構文

```
HTTP/1.1 200
```

レスポンス要素

アクションが成功した場合、サービスは空の HTTP 本文を持つ HTTP 200 レスポンスを返します。

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[共通エラー](#)」を参照してください。

AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権がありません。

HTTP ステータスコード: 403

ConflictException

競合例外エラー。

HTTP ステータスコード: 409

InternalServerErrorException

内部サーバーエラー。

HTTP ステータスコード : 500

ResourceNotFoundException

指定したリソースが見つかりませんでした。

HTTP ステータスコード: 404

ServiceQuotaExceededException

サービス引用符の一致エラー。

HTTP ステータスコード: 402

ThrottlingException

スロットリング制限を超えたというエラー。

HTTP ステータスコード: 429

ValidationException

検証例外エラー。

HTTP ステータスコード : 400

その他の参照資料

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK for .NET](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK for PHP V3](#)
- [AWS SDK for Python](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

DeleteAnalyzer

指定されたアナライザーを削除します。アナライザーを削除すると、現在のリージョンまたは特定のリージョンのアカウントまたは組織に対して IAM Access Analyzer が無効になります。アナライザーによって生成された検出結果はすべて削除されます。このアクションは元に戻すことができません。

リクエストの構文

```
DELETE /analyzer/analyzerName?clientToken=clientToken HTTP/1.1
```

URI リクエストパラメータ

リクエストでは、次の URI パラメータを使用します。

analyzerName

削除するアナライザーの名前。

長さの制限：最小長は 1 です。最大長は 255 です。

パターン: [A-Za-z][A-Za-z0-9_.-]*

必須：はい

clientToken

クライアントトークン。

リクエスト本文

リクエストにリクエスト本文がありません。

レスポンスの構文

```
HTTP/1.1 200
```

レスポンス要素

アクションが成功した場合、サービスは空の HTTP 本文を持つ HTTP 200 レスポンスを返します。

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[共通エラー](#)」を参照してください。

AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権がありません。

HTTP ステータスコード: 403

InternalServerErrorException

内部サーバーエラー。

HTTP ステータスコード : 500

ResourceNotFoundException

指定したリソースが見つかりませんでした。

HTTP ステータスコード: 404

ThrottlingException

スロットリング制限を超えたエラー。

HTTP ステータスコード: 429

ValidationException

検証例外エラー。

HTTP ステータスコード : 400

その他の参照資料

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK for .NET](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go](#)

- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK for PHP V3](#)
- [AWS SDK for Python](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

DeleteArchiveRule

指定されたアーカイブルールを削除します。

リクエストの構文

```
DELETE /analyzer/analyzerName/archive-rule/ruleName?clientToken=clientToken HTTP/1.1
```

URI リクエストパラメータ

リクエストでは、次の URI パラメータを使用します。

analyzerName

削除するアーカイブルールに関連付けられたアナライザーの名前。

長さの制限：最小長は 1 です。最大長は 255 です。

パターン: [A-Za-z][A-Za-z0-9_.-]*

必須：はい

clientToken

クライアントトークン。

ruleName

削除するルールの名前。

長さの制限：最小長は 1 です。最大長は 255 です。

パターン: [A-Za-z][A-Za-z0-9_.-]*

必須: はい

リクエストボディ

リクエストにリクエスト本文がありません。

レスポンスの構文

```
HTTP/1.1 200
```

レスポンス要素

アクションが成功した場合、サービスは空の HTTP 本文を持つ HTTP 200 レスポンスを返します。

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[共通エラー](#)」を参照してください。

AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権限がありません。

HTTP ステータスコード: 403

InternalServerErrorException

内部サーバーエラー。

HTTP ステータスコード : 500

ResourceNotFoundException

指定したリソースが見つかりませんでした。

HTTP ステータスコード: 404

ThrottlingException

スロットリング制限を超えましたエラー。

HTTP ステータスコード: 429

ValidationException

検証例外エラー。

HTTP ステータスコード : 400

その他の参照資料

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)

- [AWS SDK for .NET](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK for PHP V3](#)
- [AWS SDK for Python](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

GetAccessPreview

指定されたアナライザーのアクセスプレビューに関する情報を取得します。

リクエストの構文

```
GET /access-preview/accessPreviewId?analyzerArn=analyzerArn HTTP/1.1
```

URI リクエストパラメータ

リクエストでは、次の URI パラメータを使用します。

accessPreviewId

アクセスプレビューの一意の ID。

Pattern: [a-f0-9]{8}-[a-f0-9]{4}-[a-f0-9]{4}-[a-f0-9]{4}-[a-f0-9]{12}

必須: はい

analyzerArn

アクセスプレビューの生成に使用される [アナライザーの ARN](#)。

Pattern: [^:]*:[^:]*:[^:]*:[^:]*:[^:]*:analyzer/.{1,255}

必須: はい

リクエストボディ

リクエストにリクエスト本文がありません。

レスポンスの構文

```
HTTP/1.1 200
Content-type: application/json

{
  "accessPreview": {
    "analyzerArn": "string",
```

```
  "configurations": {
    "string" : { ... }
  },
  "createdAt": "string",
  "id": "string",
  "status": "string",
  "statusReason": {
    "code": "string"
  }
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

[accessPreview](#)

アクセスプレビューに関する情報を含むオブジェクト。

型: [AccessPreview](#) オブジェクト

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[共通エラー](#)」を参照してください。

AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権がありません。

HTTP ステータスコード: 403

InternalServerError

内部サーバーエラー。

HTTP ステータスコード : 500

ResourceNotFoundException

指定したリソースが見つかりませんでした。

HTTP ステータスコード: 404

ThrottlingException

スロットリング制限を超えたエラー。

HTTP ステータスコード: 429

ValidationException

検証例外エラー。

HTTP ステータスコード : 400

その他の参照資料

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK for .NET](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK for PHP V3](#)
- [AWS SDK for Python](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

GetAnalyzedResource

分析されたリソースに関する情報を取得します。

リクエストの構文

```
GET /analyzed-resource?analyzerArn=analyzerArn&resourceArn=resourceArn HTTP/1.1
```

URI リクエストパラメータ

リクエストでは、次の URI パラメータを使用します。

[analyzerArn](#)

情報を取得する [アナライザーの ARN](#)。

Pattern: `[\^:]*:[\^:]*:[\^:]*:[\^:]*:[\^:]*:analyzer/.{1,255}`

必須: はい

[resourceArn](#)

情報を取得するリソースの ARN。

Pattern: `arn:[\^:]*:[\^:]*:[\^:]*:[\^:]*:.*`

必須: はい

リクエストボディ

リクエストにリクエスト本文がありません。

レスポンスの構文

```
HTTP/1.1 200
Content-type: application/json

{
  "resource": {
    "actions": [ "string" ],
    "analyzedAt": "string",
```

```
"createdAt": "string",
"error": "string",
"isPublic": boolean,
"resourceArn": "string",
"resourceOwnerAccount": "string",
"resourceType": "string",
"sharedVia": [ "string" ],
"status": "string",
"updatedAt": "string"
}
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

resource

リソースの分析時に IAM Access Analyzer が検出した情報を含む `AnalyzedResource` オブジェクト。

型: [AnalyzedResource](#) オブジェクト

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[共通エラー](#)」を参照してください。

AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権限がありません。

HTTP ステータスコード: 403

InternalServerErrorException

内部サーバーエラー。

HTTP ステータスコード : 500

ResourceNotFoundException

指定したリソースが見つかりませんでした。

HTTP ステータスコード: 404

ThrottlingException

スロットリング制限を超えたエラー。

HTTP ステータスコード: 429

ValidationException

検証例外エラー。

HTTP ステータスコード : 400

その他の参照資料

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK for .NET](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK for PHP V3](#)
- [AWS SDK for Python](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

GetAnalyzer

指定されたアナライザーに関する情報を取得します。

リクエストの構文

```
GET /analyzer/analyzerName HTTP/1.1
```

URI リクエストパラメータ

リクエストでは、次の URI パラメータを使用します。

analyzerName

取得されたアナライザーの名前。

長さの制限：最小長は 1 です。最大長は 255 です。

パターン: [A-Za-z][A-Za-z0-9_.-]*

必須: はい

リクエストボディ

リクエストにリクエスト本文がありません。

レスポンスの構文

```
HTTP/1.1 200
Content-type: application/json

{
  "analyzer": {
    "arn": "string",
    "configuration": { ... },
    "createdAt": "string",
    "lastResourceAnalyzed": "string",
    "lastResourceAnalyzedAt": "string",
    "name": "string",
    "status": "string",
```

```
  "statusReason": {
    "code": "string"
  },
  "tags": {
    "string" : "string"
  },
  "type": "string"
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

[analyzer](#)

アナライザーに関する情報を含む AnalyzerSummary オブジェクト。

型: [AnalyzerSummary](#) オブジェクト

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[共通エラー](#)」を参照してください。

AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権限がありません。

HTTP ステータスコード: 403

InternalServerErrorException

内部サーバーエラー。

HTTP ステータスコード : 500

ResourceNotFoundException

指定したリソースが見つかりませんでした。

HTTP ステータスコード: 404

ThrottlingException

スロットリング制限を超えたというエラー。

HTTP ステータスコード: 429

ValidationException

検証例外エラー。

HTTP ステータスコード : 400

その他の参照資料

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK for .NET](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK for PHP V3](#)
- [AWS SDK for Python](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

GetArchiveRule

アーカイブルールに関する情報を取得します。

アーカイブルールの作成に使用できるフィルターキーについては、[「IAM ユーザーガイド」の「IAM Access Analyzer フィルターキー」](#)を参照してください。

リクエストの構文

```
GET /analyzer/analyzerName/archive-rule/ruleName HTTP/1.1
```

URI リクエストパラメータ

リクエストでは、次の URI パラメータを使用します。

analyzerName

ルールを取得するアナライザーの名前。

長さの制限：最小長は 1 です。最大長は 255 です。

パターン: [A-Za-z][A-Za-z0-9_.-]*

必須：はい

ruleName

取得するルールの名前。

長さの制限：最小長は 1 です。最大長は 255 です。

パターン: [A-Za-z][A-Za-z0-9_.-]*

必須: はい

リクエストボディ

リクエストにリクエスト本文がありません。

レスポンスの構文

```
HTTP/1.1 200
```

```
Content-type: application/json

{
  "archiveRule": {
    "createdAt": "string",
    "filter": {
      "string": {
        "contains": [ "string" ],
        "eq": [ "string" ],
        "exists": boolean,
        "neq": [ "string" ]
      }
    },
    "ruleName": "string",
    "updatedAt": "string"
  }
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

[archiveRule](#)

アーカイブルールに関する情報が含まれます。

型: [ArchiveRuleSummary](#) オブジェクト

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[共通エラー](#)」を参照してください。

AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権限がありません。

HTTP ステータスコード: 403

InternalServerError

内部サーバーエラー。

HTTP ステータスコード : 500

ResourceNotFoundException

指定したリソースが見つかりませんでした。

HTTP ステータスコード: 404

ThrottlingException

スロットリング制限を超えましたエラー。

HTTP ステータスコード: 429

ValidationException

検証例外エラー。

HTTP ステータスコード : 400

その他の参照資料

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK for .NET](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK for PHP V3](#)
- [AWS SDK for Python](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

GetFinding

指定された検出結果に関する情報を取得します。GetFinding と GetFindingV2 はどちらも IAM ポリシーステートメントの Action 要素 `access-analyzer:GetFinding` を使用します。 `access-analyzer:GetFinding` アクションを実行するアクセス許可が必要です。

リクエストの構文

```
GET /finding/id?analyzerArn=analyzerArn HTTP/1.1
```

URI リクエストパラメータ

リクエストでは、次の URI パラメータを使用します。

analyzerArn

結果を生成した [アナライザーの ARN](#)。

Pattern: `^[^:]*:[^:]*:[^:]*:[^:]*:[^:]*:analyzer/.{1,255}`

必須: はい

id

取得する結果の ID。

必須: はい

リクエストボディ

リクエストにリクエスト本文がありません。

レスポンスの構文

```
HTTP/1.1 200
Content-type: application/json

{
  "finding": {
    "action": [ "string" ],
    "analyzedAt": "string",
```



```
  "condition": {
    "string": "string"
  },
  "createdAt": "string",
  "error": "string",
  "id": "string",
  "isPublic": boolean,
  "principal": {
    "string": "string"
  },
  "resource": "string",
  "resourceOwnerAccount": "string",
  "resourceType": "string",
  "sources": [
    {
      "detail": {
        "accessPointAccount": "string",
        "accessPointArn": "string"
      },
      "type": "string"
    }
  ],
  "status": "string",
  "updatedAt": "string"
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

[finding](#)

結果の詳細を含む finding オブジェクト。

型: [Finding](#) オブジェクト

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[共通エラー](#)」を参照してください。

AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権がありません。

HTTP ステータスコード: 403

InternalServerErrorException

内部サーバーエラー。

HTTP ステータスコード : 500

ResourceNotFoundException

指定したリソースが見つかりませんでした。

HTTP ステータスコード: 404

ThrottlingException

スロットリング制限を超えましたというエラー。

HTTP ステータスコード: 429

ValidationException

検証例外エラー。

HTTP ステータスコード : 400

その他の参照資料

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK for .NET](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK for PHP V3](#)

- [AWS SDK for Python](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

GetFindingV2

指定された検出結果に関する情報を取得します。GetFinding と GetFindingV2 はどちらも IAM ポリシーステートメントの Action 要素 `access-analyzer:GetFinding` で使用します。access-analyzer:GetFinding アクションを実行するアクセス許可が必要です。

リクエストの構文

```
GET /findingv2/id?analyzerArn=analyzerArn&maxResults=maxResults&nextToken=nextToken
HTTP/1.1
```

URI リクエストパラメータ

リクエストでは、次の URI パラメータを使用します。

[analyzerArn](#)

結果を生成した [アナライザーの ARN](#)。

Pattern: `[\^:]*:[\^:]*:[\^:]*:[\^:]*:[\^:]*:analyzer/.{1,255}`

必須: はい

[id](#)

取得する結果の ID。

必須: はい

[maxResults](#)

レスポンスで返される結果の最大数。

[nextToken](#)

返された結果のページ分割に使用されるトークン。

リクエスト本文

リクエストにリクエスト本文がありません。

レスポンスの構文

```
HTTP/1.1 200
Content-type: application/json

{
  "analyzedAt": "string",
  "createdAt": "string",
  "error": "string",
  "findingDetails": [
    { ... }
  ],
  "findingType": "string",
  "id": "string",
  "nextToken": "string",
  "resource": "string",
  "resourceOwnerAccount": "string",
  "resourceType": "string",
  "status": "string",
  "updatedAt": "string"
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

[analyzedAt](#)

結果を生成したリソースベースのポリシーまたは IAM エンティティが分析された時刻。

型: タイムスタンプ

[createdAt](#)

結果が作成された時刻。

型: タイムスタンプ

[error](#)

エラー。

型: 文字列

[findingDetails](#)

結果を説明し、対処方法に関するガイダンスを提供するローカライズされたメッセージ。

型: [FindingDetails](#) オブジェクトの配列

[findingType](#)

結果のタイプ。外部アクセスアナライザーの場合、タイプは `ExternalAccess`。未使用のアクセスアナライザーの場合、タイプは `UnusedIAMRole`、`UnusedIAMUserAccessKey`、`UnusedIAMUserPassword`、または `UnusedPermission`。

型: 文字列

有効な値 : `ExternalAccess` | `UnusedIAMRole` | `UnusedIAMUserAccessKey` | `UnusedIAMUserPassword` | `UnusedPermission`

[id](#)

取得する結果の ID。

型: 文字列

[nextToken](#)

返された結果のページ分割に使用されるトークン。

型: 文字列

[resource](#)

結果を生成したリソース。

型: 文字列

[resourceOwnerAccount](#)

リソースを所有するタイプ AWS アカウント ID。

型: 文字列

[resourceType](#)

結果で識別されたリソースのタイプ。

型: 文字列

有効な値 : AWS::S3::Bucket | AWS::IAM::Role | AWS::SQS::Queue |
AWS::Lambda::Function | AWS::Lambda::LayerVersion | AWS::KMS::Key
| AWS::SecretsManager::Secret | AWS::EFS::FileSystem |
AWS::EC2::Snapshot | AWS::ECR::Repository | AWS::RDS::DBSnapshot
| AWS::RDS::DBClusterSnapshot | AWS::SNS::Topic |
AWS::S3Express::DirectoryBucket

status

調査結果のステータス。

型: 文字列

有効な値 : ACTIVE | ARCHIVED | RESOLVED

updatedAt

結果が更新された時刻。

型: タイムスタンプ

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[共通エラー](#)」を参照してください。

AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権限がありません。

HTTP ステータスコード: 403

InternalServerErrorException

内部サーバーエラー。

HTTP ステータスコード : 500

ResourceNotFoundException

指定したリソースが見つかりませんでした。

HTTP ステータスコード: 404

ThrottlingException

スロットリング制限を超えたというエラー。

HTTP ステータスコード: 429

ValidationException

検証例外エラー。

HTTP ステータスコード : 400

その他の参照資料

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK for .NET](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK for PHP V3](#)
- [AWS SDK for Python](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

GetGeneratedPolicy

を使用して生成されたポリシーを取得しますStartPolicyGeneration。

リクエストの構文

```
GET /policy/generation/jobId?  
includeResourcePlaceholders=includeResourcePlaceholders&includeServiceLevelTemplate=includeServiceLevelTemplate  
HTTP/1.1
```

URI リクエストパラメータ

リクエストでは、次の URI パラメータを使用します。

[includeResourcePlaceholders](#)

生成する詳細のレベル。ポリシーでリソースレベルの詳細度をサポートするアクションのリソース ARNs のプレースホルダーを使用してポリシーを生成するかどうかを指定できます。

例えば、ポリシーのリソースセクションでは、"Resource": "arn:aws:s3:::
\${BucketName}" の代わりに などのプレースホルダーを受け取ることができます"*"。

[includeServiceLevelTemplate](#)

生成する詳細のレベル。サービスレベルのポリシーを生成するかどうかを指定できます。

IAM Access Analyzer は、iam:serviceleastaccessedを使用して、このサービスレベルのテンプレートを作成するために最近使用されたサービスを識別します。

[jobId](#)

StartPolicyGeneration オペレーションによって返JobIdされる。は、と共に使用GetGeneratedPolicyして生成されたポリシーを取得するか、と共に使用CancelPolicyGenerationしてポリシー生成リクエストをキャンセルJobIdできます。

必須: はい

リクエストボディ

リクエストにリクエスト本文がありません。

レスポンスの構文

```
HTTP/1.1 200
Content-type: application/json

{
  "generatedPolicyResult": {
    "generatedPolicies": [
      {
        "policy": "string"
      }
    ],
    "properties": {
      "cloudTrailProperties": {
        "endTime": "string",
        "startTime": "string",
        "trailProperties": [
          {
            "allRegions": boolean,
            "cloudTrailArn": "string",
            "regions": [ "string" ]
          }
        ]
      },
      "isComplete": boolean,
      "principalArn": "string"
    }
  },
  "jobDetails": {
    "completedOn": "string",
    "jobError": {
      "code": "string",
      "message": "string"
    },
    "jobId": "string",
    "startedOn": "string",
    "status": "string"
  }
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

[generatedPolicyResult](#)

生成されたポリシーと関連する詳細を含む GeneratedPolicyResult オブジェクト。

タイプ: [GeneratedPolicyResult](#) オブジェクト

[jobDetails](#)

生成されたポリシーの詳細を含む GeneratedPolicyDetails オブジェクト。

型: [JobDetails](#) オブジェクト

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[共通エラー](#)」を参照してください。

AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権限がありません。

HTTP ステータスコード: 403

InternalServerError

内部サーバーエラー。

HTTP ステータスコード: 500

ThrottlingException

スロットリング制限を超えたエラー。

HTTP ステータスコード: 429

ValidationException

検証例外エラー。

HTTP ステータスコード: 400

その他の参照資料

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK for .NET](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK for PHP V3](#)
- [AWS SDK for Python](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

ListAccessPreviewFindings

指定されたアクセスプレビューによって生成されたアクセスプレビューの結果のリストを取得します。

リクエストの構文

```
POST /access-preview/accessPreviewId HTTP/1.1
```

```
Content-type: application/json
```

```
{
  "analyzerArn": "string",
  "filter": {
    "string": {
      "contains": [ "string" ],
      "eq": [ "string" ],
      "exists": boolean,
      "neq": [ "string" ]
    }
  },
  "maxResults": number,
  "nextToken": "string"
}
```

URI リクエストパラメータ

リクエストでは、次の URI パラメータを使用します。

accessPreviewId

アクセスプレビューの一意の ID。

Pattern: [a-f0-9]{8}-[a-f0-9]{4}-[a-f0-9]{4}-[a-f0-9]{4}-[a-f0-9]{12}

必須: はい

リクエストボディ

リクエストは以下の JSON 形式のデータを受け入れます。

analyzerArn

アクセスの生成に使用される アナライザーの ARN。

型: 文字列

Pattern: `[^:]*:[^:]*:[^:]*:[^:]*:[^:]*:analyzer/.{1,255}`

必須: はい

filter

返された結果をフィルタリングする基準。

タイプ: Criterion オブジェクトマップへの文字列です。

必須: いいえ

maxResults

レスポンスで返される結果の最大数。

タイプ: 整数

必須: いいえ

nextToken

返された結果のページ分割に使用されるトークン。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

レスポンスの構文

```
HTTP/1.1 200
Content-type: application/json
```

```
{
  "findings": [
    {
      "action": [ "string" ],
      "changeType": "string",
      "condition": {
```

```
    "string" : "string"
  },
  "createdAt": "string",
  "error": "string",
  "existingFindingId": "string",
  "existingFindingStatus": "string",
  "id": "string",
  "isPublic": boolean,
  "principal": {
    "string" : "string"
  },
  "resource": "string",
  "resourceOwnerAccount": "string",
  "resourceType": "string",
  "sources": [
    {
      "detail": {
        "accessPointAccount": "string",
        "accessPointArn": "string"
      },
      "type": "string"
    }
  ],
  "status": "string"
}
],
"nextToken": "string"
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

findings

指定されたフィルター条件に一致するアクセスプレビュー結果のリスト。

型: [AccessPreviewFinding](#) オブジェクトの配列

nextToken

返された結果のページ分割に使用されるトークン。

型: 文字列

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[共通エラー](#)」を参照してください。

AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権がありません。

HTTP ステータスコード: 403

ConflictException

競合例外エラー。

HTTP ステータスコード: 409

InternalServerErrorException

内部サーバーエラー。

HTTP ステータスコード : 500

ResourceNotFoundException

指定したリソースが見つかりませんでした。

HTTP ステータスコード: 404

ThrottlingException

スロットリング制限を超えたエラー。

HTTP ステータスコード: 429

ValidationException

検証例外エラー。

HTTP ステータスコード : 400

その他の参照資料

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用する方法の詳細については、[以下を参照してください](#)。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK for .NET](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK for PHP V3](#)
- [AWS SDK for Python](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

ListAccessPreviews

指定されたアナライザーのアクセスプレビューのリストを取得します。

リクエストの構文

```
GET /access-preview?analyzerArn=analyzerArn&maxResults=maxResults&nextToken=nextToken
HTTP/1.1
```

URI リクエストパラメータ

リクエストでは、次の URI パラメータを使用します。

[analyzerArn](#)

アクセスプレビューの生成に使用される [アナライザーの ARN](#)。

Pattern: `[\^:]*:[\^:]*:[\^:]*:[\^:]*:[\^:]*:analyzer/.{1,255}`

必須：はい

[maxResults](#)

レスポンスで返される結果の最大数。

[nextToken](#)

返された結果のページ分割に使用されるトークン。

リクエスト本文

リクエストにリクエスト本文がありません。

レスポンスの構文

```
HTTP/1.1 200
Content-type: application/json

{
  "accessPreviews": [
    {
```

```
    "analyzerArn": "string",
    "createdAt": "string",
    "id": "string",
    "status": "string",
    "statusReason": {
      "code": "string"
    }
  },
  "nextToken": "string"
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

accessPreviews

アナライザー用に取得されたアクセスプレビューのリスト。

型: [AccessPreviewSummary](#) オブジェクトの配列

nextToken

返された結果のページ分割に使用されるトークン。

型: 文字列

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[共通エラー](#)」を参照してください。

AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権がありません。

HTTP ステータスコード: 403

InternalServerError

内部サーバーエラー。

HTTP ステータスコード : 500

ResourceNotFoundException

指定したリソースが見つかりませんでした。

HTTP ステータスコード: 404

ThrottlingException

スロットリング制限を超えましたエラー。

HTTP ステータスコード: 429

ValidationException

検証例外エラー。

HTTP ステータスコード : 400

その他の参照資料

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK for .NET](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK for PHP V3](#)
- [AWS SDK for Python](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

ListAnalyzedResources

指定された外部アクセスアナライザーによって分析された、指定されたタイプのリソースのリストを取得します。このアクションは、未使用のアクセスアナライザーではサポートされていません。

リクエストの構文

```
POST /analyzed-resource HTTP/1.1
Content-type: application/json
```

```
{
  "analyzerArn": "string",
  "maxResults": number,
  "nextToken": "string",
  "resourceType": "string"
}
```

URI リクエストパラメータ

リクエストでは URI パラメータを使用しません。

リクエストボディ

リクエストは以下の JSON 形式のデータを受け入れます。

[analyzerArn](#)

分析されたリソースのリストを取得する [アナライザーの ARN](#)。

型: 文字列

Pattern: `^[^:]*:[^:]*:[^:]*:[^:]*:[^:]*:analyzer/.{1,255}`

必須: はい

[maxResults](#)

レスポンスで返される結果の最大数。

タイプ: 整数

必須: いいえ

nextToken

返された結果のページ分割に使用されるトークン。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

resourceType

リソースのタイプ。

型: 文字列

有効な値 : AWS::S3::Bucket | AWS::IAM::Role | AWS::SQS::Queue |
AWS::Lambda::Function | AWS::Lambda::LayerVersion | AWS::KMS::Key
| AWS::SecretsManager::Secret | AWS::EFS::FileSystem |
AWS::EC2::Snapshot | AWS::ECR::Repository | AWS::RDS::DBSnapshot
| AWS::RDS::DBClusterSnapshot | AWS::SNS::Topic |
AWS::S3Express::DirectoryBucket

必須 : いいえ

レスポンスの構文

```
HTTP/1.1 200
```

```
Content-type: application/json
```

```
{
  "analyzedResources": [
    {
      "resourceArn": "string",
      "resourceOwnerAccount": "string",
      "resourceType": "string"
    }
  ],
  "nextToken": "string"
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

analyzedResources

分析されたリソースのリスト。

型: [AnalyzedResourceSummary](#) オブジェクトの配列

nextToken

返された結果のページ分割に使用されるトークン。

型: 文字列

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[共通エラー](#)」を参照してください。

AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権がありません。

HTTP ステータスコード: 403

InternalServerError

内部サーバーエラー。

HTTP ステータスコード : 500

ResourceNotFoundException

指定したリソースが見つかりませんでした。

HTTP ステータスコード: 404

ThrottlingException

スロットリング制限を超えたエラー。

HTTP ステータスコード: 429

ValidationException

検証例外エラー。

HTTP ステータスコード : 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDK のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK for .NET](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK for PHP V3](#)
- [AWS SDK for Python](#)
- 「[AWS SDK for Ruby V3](#)」

ListAnalyzers

アナライザーのリストを取得します。

リクエストの構文

```
GET /analyzer?maxResults=maxResults&nextToken=nextToken&type=type HTTP/1.1
```

URI リクエストパラメータ

リクエストでは、次の URI パラメータを使用します。

[maxResults](#)

レスポンスで返される結果の最大数。

[nextToken](#)

返された結果のページ分割に使用されるトークン。

[type](#)

アナライザーのタイプ。

有効な値 : ACCOUNT | ORGANIZATION | ACCOUNT_UNUSED_ACCESS | ORGANIZATION_UNUSED_ACCESS

リクエスト本文

リクエストにリクエスト本文がありません。

レスポンスの構文

```
HTTP/1.1 200
Content-type: application/json

{
  "analyzers": [
    {
      "arn": "string",
      "configuration": { ... },
    }
  ]
}
```

```
    "createdAt": "string",
    "lastResourceAnalyzed": "string",
    "lastResourceAnalyzedAt": "string",
    "name": "string",
    "status": "string",
    "statusReason": {
      "code": "string"
    },
    "tags": {
      "string" : "string"
    },
    "type": "string"
  }
],
"nextToken": "string"
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

[analyzers](#)

取得されたアナライザー。

型: [AnalyzerSummary](#) オブジェクトの配列

[nextToken](#)

返された結果のページ分割に使用されるトークン。

型: 文字列

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[共通エラー](#)」を参照してください。

AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権がありません。

HTTP ステータスコード: 403

InternalServerErrorException

内部サーバーエラー。

HTTP ステータスコード : 500

ThrottlingException

スロットリング制限を超えたエラー。

HTTP ステータスコード: 429

ValidationException

検証例外エラー。

HTTP ステータスコード : 400

その他の参照資料

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK for .NET](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK for PHP V3](#)
- [AWS SDK for Python](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

ListArchiveRules

指定されたアナライザー用に作成されたアーカイブ規則のリストを取得します。

リクエストの構文

```
GET /analyzer/analyzerName/archive-rule?maxResults=maxResults&nextToken=nextToken
HTTP/1.1
```

URI リクエストパラメータ

リクエストでは、次の URI パラメータを使用します。

analyzerName

ルールを取得するアナライザーの名前。

長さの制限：最小長は 1 です。最大長は 255 です。

パターン: [A-Za-z][A-Za-z0-9_.-]*

必須：はい

maxResults

リクエストで返される結果の最大数。

nextToken

返された結果のページ分割に使用されるトークン。

リクエスト本文

リクエストにリクエスト本文がありません。

レスポンスの構文

```
HTTP/1.1 200
Content-type: application/json

{
```

```
"archiveRules": [
  {
    "createdAt": "string",
    "filter": {
      "string": {
        "contains": [ "string" ],
        "eq": [ "string" ],
        "exists": boolean,
        "neq": [ "string" ]
      }
    },
    "ruleName": "string",
    "updatedAt": "string"
  }
],
"nextToken": "string"
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

archiveRules

指定されたアナライザー用に作成されたアーカイブルールの一覧。

型: [ArchiveRuleSummary](#) オブジェクトの配列

nextToken

返された結果のページ分割に使用されるトークン。

型: 文字列

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[共通エラー](#)」を参照してください。

AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権がありません。

HTTP ステータスコード: 403

InternalServerError

内部サーバーエラー。

HTTP ステータスコード : 500

ThrottlingException

スロットリング制限を超えたエラー。

HTTP ステータスコード: 429

ValidationException

検証例外エラー。

HTTP ステータスコード : 400

その他の参照資料

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK for .NET](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK for PHP V3](#)
- [AWS SDK for Python](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

ListFindings

指定された Analyzer. ListFindings と ListFindingsV2 によって生成された検出結果のリストを取得します。どちらも IAM ポリシーステートメントの Action 要素 `access-analyzer:ListFindings` を使用します。access-analyzer:ListFindings アクションを実行するアクセス許可が必要です。

検出結果のリストを取得するために使用できるフィルターキーについては、[「IAM ユーザーガイド」の「IAM Access Analyzer フィルターキー」](#)を参照してください。

リクエストの構文

```
POST /finding HTTP/1.1
Content-type: application/json

{
  "analyzerArn": "string",
  "filter": {
    "string" : {
      "contains": [ "string" ],
      "eq": [ "string" ],
      "exists": boolean,
      "neq": [ "string" ]
    }
  },
  "maxResults": number,
  "nextToken": "string",
  "sort": {
    "attributeName": "string",
    "orderBy": "string"
  }
}
```

URI リクエストパラメータ

リクエストでは URI パラメータを使用しません。

リクエストボディ

リクエストは以下の JSON 形式のデータを受け入れます。

[analyzerArn](#)

結果を取得する [アナライザーの ARN](#)。

型: 文字列

Pattern: `[\^:]*:[\^:]*:[\^:]*:[\^:]*:[\^:]*:analyzer/.{1,255}`

必須: はい

[filter](#)

返す結果に一致するフィルター。

タイプ: [Criterion](#) オブジェクトマップへの文字列です。

必須: いいえ

[maxResults](#)

レスポンスで返される結果の最大数。

タイプ: 整数

必須: いいえ

[nextToken](#)

返された結果のページ分割に使用されるトークン。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

[sort](#)

返された結果のソート順。

タイプ: [SortCriteria](#) オブジェクト

必須: いいえ

レスポンスの構文

```
HTTP/1.1 200
Content-type: application/json
```



```
{
  "findings": [
    {
      "action": [ "string" ],
      "analyzedAt": "string",
      "condition": {
        "string" : "string"
      },
      "createdAt": "string",
      "error": "string",
      "id": "string",
      "isPublic": boolean,
      "principal": {
        "string" : "string"
      },
      "resource": "string",
      "resourceOwnerAccount": "string",
      "resourceType": "string",
      "sources": [
        {
          "detail": {
            "accessPointAccount": "string",
            "accessPointArn": "string"
          },
          "type": "string"
        }
      ],
      "status": "string",
      "updatedAt": "string"
    }
  ],
  "nextToken": "string"
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

findings

アナライザーから取得され、指定されたフィルター条件に一致する検出結果のリスト。

型: [FindingSummary](#) オブジェクトの配列

[nextToken](#)

返された結果のページ分割に使用されるトークン。

型: 文字列

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[共通エラー](#)」を参照してください。

AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権限がありません。

HTTP ステータスコード: 403

InternalServerErrorException

内部サーバーエラー。

HTTP ステータスコード : 500

ResourceNotFoundException

指定したリソースが見つかりませんでした。

HTTP ステータスコード: 404

ThrottlingException

スロットリング制限を超えたエラー。

HTTP ステータスコード: 429

ValidationException

検証例外エラー。

HTTP ステータスコード : 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDK のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK for .NET](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK for PHP V3](#)
- [AWS SDK for Python](#)
- 「[AWS SDK for Ruby V3](#)」

ListFindingsV2

指定された Analyzer. ListFindings と ListFindingsV2 によって生成された検出結果のリストを取得します。どちらも IAM ポリシーステートメントの Action 要素 `access-analyzer:ListFindings` を使用します。access-analyzer:ListFindings アクションを実行するアクセス許可が必要です。

検出結果のリストを取得するために使用できるフィルターキーについては、[「IAM ユーザーガイド」の「IAM Access Analyzer フィルターキー」](#)を参照してください。

リクエストの構文

```
POST /findingv2 HTTP/1.1
Content-type: application/json

{
  "analyzerArn": "string",
  "filter": {
    "string" : {
      "contains": [ "string" ],
      "eq": [ "string" ],
      "exists": boolean,
      "neq": [ "string" ]
    }
  },
  "maxResults": number,
  "nextToken": "string",
  "sort": {
    "attributeName": "string",
    "orderBy": "string"
  }
}
```

URI リクエストパラメータ

リクエストでは URI パラメータを使用しません。

リクエストボディ

リクエストは以下の JSON 形式のデータを受け入れます。

[analyzerArn](#)

結果を取得する [アナライザーの ARN](#)。

型: 文字列

Pattern: `[\^:]*:[\^:]*:[\^:]*:[\^:]*:[\^:]*:analyzer/.{1,255}`

必須: はい

[filter](#)

返す結果に一致するフィルター。

タイプ: [Criterion](#) オブジェクトマップへの文字列です。

必須: いいえ

[maxResults](#)

レスポンスで返される結果の最大数。

タイプ: 整数

必須: いいえ

[nextToken](#)

返された結果のページ分割に使用されるトークン。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

[sort](#)

ソートに使用される条件。

タイプ: [SortCriteria](#) オブジェクト

必須: いいえ

レスポンスの構文

```
HTTP/1.1 200
Content-type: application/json
```

```
{
  "findings": [
    {
      "analyzedAt": "string",
      "createdAt": "string",
      "error": "string",
      "findingType": "string",
      "id": "string",
      "resource": "string",
      "resourceOwnerAccount": "string",
      "resourceType": "string",
      "status": "string",
      "updatedAt": "string"
    }
  ],
  "nextToken": "string"
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

findings

アナライザーから取得され、指定されたフィルター条件に一致する結果のリスト。

型: [FindingSummaryV2](#) オブジェクトの配列

nextToken

返された結果のページ分割に使用されるトークン。

型: 文字列

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[共通エラー](#)」を参照してください。

AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権がありません。

HTTP ステータスコード: 403

InternalServerErrorException

内部サーバーエラー。

HTTP ステータスコード : 500

ResourceNotFoundException

指定したリソースが見つかりませんでした。

HTTP ステータスコード: 404

ThrottlingException

スロットリング制限を超えたというエラー。

HTTP ステータスコード: 429

ValidationException

検証例外エラー。

HTTP ステータスコード : 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDK のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK for .NET](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK for PHP V3](#)
- [AWS SDK for Python](#)
- 「[AWS SDK for Ruby V3](#)」

ListPolicyGenerations

過去 7 日間にリクエストされたすべてのポリシー生成を一覧表示します。

リクエストの構文

```
GET /policy/generation?  
maxResults=maxResults&nextToken=nextToken&principalArn=principalArn HTTP/1.1
```

URI リクエストパラメータ

リクエストでは、次の URI パラメータを使用します。

[maxResults](#)

レスポンスに返される結果の最大数。

有効範囲: 最小値は 1 です。

[nextToken](#)

返された結果のページ分割に使用されるトークン。

[principalArn](#)

ポリシーを生成する IAM エンティティ (ユーザーまたはロール) の ARN。これを とともに使用 `ListGeneratedPolicies` して、特定のプリンシパルの結果のみを含めるように結果をフィルタリングします。

Pattern: `arn:[^:]*:iam::[^:]*:(role|user)/.{1,576}`

リクエストボディ

リクエストにリクエスト本文がありません。

レスポンスの構文

```
HTTP/1.1 200  
Content-type: application/json  
  
{
```



```
"nextToken": "string",
"policyGenerations": [
  {
    "completedOn": "string",
    "jobId": "string",
    "principalArn": "string",
    "startedOn": "string",
    "status": "string"
  }
]
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

[nextToken](#)

返された結果のページ分割に使用されるトークン。

型: 文字列

[policyGenerations](#)

生成されたポリシーの詳細を含む PolicyGeneration オブジェクト。

型: [PolicyGeneration](#) オブジェクトの配列

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[共通エラー](#)」を参照してください。

AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権がありません。

HTTP ステータスコード: 403

InternalServerErrorException

内部サーバーエラー。

HTTP ステータスコード : 500

ThrottlingException

スロットリング制限を超えたエラー。

HTTP ステータスコード: 429

ValidationException

検証例外エラー。

HTTP ステータスコード : 400

その他の参照資料

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK for .NET](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK for PHP V3](#)
- [AWS SDK for Python](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

ListTagsForResource

指定されたリソースに適用されたタグのリストを取得します。

リクエストの構文

```
GET /tags/resourceArn HTTP/1.1
```

URI リクエストパラメータ

リクエストでは、次の URI パラメータを使用します。

[resourceArn](#)

タグを取得するリソースの ARN。

必須: はい

リクエストボディ

リクエストにリクエスト本文がありません。

レスポンスの構文

```
HTTP/1.1 200
Content-type: application/json

{
  "tags": {
    "string" : "string"
  }
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

tags

指定されたリソースに適用されるタグ。

型: 文字列間のマッピング

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[共通エラー](#)」を参照してください。

AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権限がありません。

HTTP ステータスコード: 403

InternalServerError

内部サーバーエラー。

HTTP ステータスコード : 500

ResourceNotFoundException

指定したリソースが見つかりませんでした。

HTTP ステータスコード: 404

ThrottlingException

スロットリング制限を超えたというエラー。

HTTP ステータスコード: 429

ValidationException

検証例外エラー。

HTTP ステータスコード : 400

その他の参照資料

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、[以下を参照してください](#)。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK for .NET](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK for PHP V3](#)
- [AWS SDK for Python](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

StartPolicyGeneration

ポリシー生成リクエストを開始します。

リクエストの構文

```
PUT /policy/generation HTTP/1.1
Content-type: application/json

{
  "clientToken": "string",
  "cloudTrailDetails": {
    "accessRole": "string",
    "endTime": "string",
    "startTime": "string",
    "trails": [
      {
        "allRegions": boolean,
        "cloudTrailArn": "string",
        "regions": [ "string" ]
      }
    ]
  },
  "policyGenerationDetails": {
    "principalArn": "string"
  }
}
```

URI リクエストパラメータ

リクエストでは URI パラメータを使用しません。

リクエストボディ

リクエストは以下の JSON 形式のデータを受け入れます。

clientToken

リクエストの冪等性のために割り当てる一意の識別子 (大文字と小文字を区別)。べき等は、API リクエストが 1 回だけ完了することを保証します。同一の要求では、元のリクエストが正常に完了した場合、同じクライアントトークンを使用してそれ以降に再試行すると、元の成功したリクエストの結果が返され、それ以上の影響はありません。

クライアントトークンを指定しない場合、SDK によって自動的に生成されます。AWS

型: 文字列

必須: いいえ

[cloudTrailDetails](#)

CloudTrailDetailsポリシーを生成するために分析したい詳細を含むオブジェクト。Trail

型: [CloudTrailDetails](#) オブジェクト

必須: いいえ

[policyGenerationDetails](#)

ポリシーを生成する IAM エンティティ (ユーザーまたはロール) の ARN が含まれます。

型: [PolicyGenerationDetails](#) オブジェクト

必須: はい

レスポンスの構文

```
HTTP/1.1 200
Content-type: application/json
```

```
{
  "jobId": "string"
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

[jobId](#)

JobIdこれはオペレーションによって返されま
す。StartPolicyGenerationGetGeneratedPolicyと併用して生成されたポリシーを取得

したり、CancelPolicyGenerationと併用してポリシー生成要求をキャンセルしたりできません。JobId

型: 文字列

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[共通エラー](#)」を参照してください。

AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権がありません。

HTTP ステータスコード: 403

ConflictException

コンフリクト例外エラー。

HTTP ステータスコード: 409

InternalServerError

内部サーバーエラー。

HTTP ステータスコード: 500

ServiceQuotaExceededException

サービスクォータミートエラー。

HTTP ステータスコード: 402

ThrottlingException

スロットリング制限超過エラー。

HTTP ステータスコード: 429

ValidationException

検証例外エラー。

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDK のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK for .NET](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS JavaScript V3 用の SDK](#)
- [AWS SDK for PHP V3](#)
- [AWS SDK for Python](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

StartResourceScan

指定されたリソースに適用されているポリシーのスキャンをすぐ開始します。

リクエストの構文

```
POST /resource/scan HTTP/1.1
Content-type: application/json

{
  "analyzerArn": "string",
  "resourceArn": "string",
  "resourceOwnerAccount": "string"
}
```

URI リクエストパラメータ

リクエストでは URI パラメータを使用しません。

リクエストボディ

リクエストは以下の JSON 形式のデータを受け入れます。

analyzerArn

指定されたリソースに適用されるポリシーのスキャンに使用するアナライザーの ARN。

型: 文字列

Pattern: `[\^:]*:[\^:]*:[\^:]*:[\^:]*:[\^:]*:analyzer/.{1,255}`

必須: はい

resourceArn

スキャンするリソースの ARN。

型: 文字列

Pattern: `arn:[\^:]*:[\^:]*:[\^:]*:[\^:]*:.*`

必須: はい

resourceOwnerAccount

リソースを所有する AWS アカウント ID。AWSほとんどのリソースでは、所有アカウントはリソースが作成されたアカウントです。

型: 文字列

必須: いいえ

レスポンスの構文

```
HTTP/1.1 200
```

レスポンス要素

アクションが成功した場合、サービスは空の HTTP 本文を持つ HTTP 200 応答を返します。

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[共通エラー](#)」を参照してください。

AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権がありません。

HTTP ステータスコード: 403

InternalServerError

内部サーバーエラー。

HTTP ステータスコード: 500

ResourceNotFoundException

指定したリソースが見つかりませんでした。

HTTP ステータスコード: 404

ThrottlingException

スロットリング制限超過エラー。

HTTP ステータスコード: 429

ValidationException

検証例外エラー。

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDK のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK for .NET](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS JavaScript V3 用 SDK](#)
- [AWS SDK for PHP V3](#)
- [AWS SDK for Python](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

TagResource

指定されたリソースにタグを追加します。

リクエストの構文

```
POST /tags/resourceArn HTTP/1.1  
Content-type: application/json
```

```
{  
  "tags": {  
    "string" : "string"  
  }  
}
```

URI リクエストパラメータ

リクエストでは、次の URI パラメータを使用します。

resourceArn

タグを追加するリソースの ARN。

必須: はい

リクエストボディ

リクエストは以下の JSON 形式のデータを受け入れます。

tags

リソースに追加するタグ。

型: 文字列間のマッピング

必須: はい

レスポンスの構文

```
HTTP/1.1 200
```

レスポンス要素

アクションが成功した場合、サービスは空の HTTP 本文を持つ HTTP 200 レスポンスを返します。

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[共通エラー](#)」を参照してください。

AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権限がありません。

HTTP ステータスコード: 403

InternalServerErrorException

内部サーバーエラー。

HTTP ステータスコード : 500

ResourceNotFoundException

指定したリソースが見つかりませんでした。

HTTP ステータスコード: 404

ThrottlingException

スロットリング制限を超えましたエラー。

HTTP ステータスコード: 429

ValidationException

検証例外エラー。

HTTP ステータスコード : 400

その他の参照資料

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)

- [AWS SDK for .NET](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK for PHP V3](#)
- [AWS SDK for Python](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

UntagResource

指定されたリソースからタグを削除します。

リクエストの構文

```
DELETE /tags/resourceArn?tagKeys=tagKeys HTTP/1.1
```

URI リクエストパラメータ

リクエストでは、次の URI パラメータを使用します。

[resourceArn](#)

タグを削除するリソースの ARN。

必須: はい

[tagKeys](#)

追加するタグのキー。

必須: はい

リクエストボディ

リクエストにリクエスト本文がありません。

レスポンスの構文

```
HTTP/1.1 200
```

レスポンス要素

アクションが成功した場合、サービスは空の HTTP 本文を持つ HTTP 200 レスポンスを返します。

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[共通エラー](#)」を参照してください。

AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権がありません。

HTTP ステータスコード: 403

InternalServerErrorException

内部サーバーエラー。

HTTP ステータスコード : 500

ResourceNotFoundException

指定したリソースが見つかりませんでした。

HTTP ステータスコード: 404

ThrottlingException

スロットリング制限を超えたというエラー。

HTTP ステータスコード: 429

ValidationException

検証例外エラー。

HTTP ステータスコード : 400

その他の参照資料

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK for .NET](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK for PHP V3](#)

- [AWS SDK for Python](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

UpdateArchiveRule

指定されたアーカイブ規則の基準と値を更新します。

リクエストの構文

```
PUT /analyzer/analyzerName/archive-rule/ruleName HTTP/1.1  
Content-type: application/json
```

```
{  
  "clientToken": "string",  
  "filter": {  
    "string" : {  
      "contains": [ "string" ],  
      "eq": [ "string" ],  
      "exists": boolean,  
      "neq": [ "string" ]  
    }  
  }  
}
```

URI リクエストパラメータ

リクエストでは、次の URI パラメータを使用します。

analyzerName

アーカイブ規則を更新するアナライザーの名前。

長さの制限：最小長は 1 です。最大長は 255 です。

パターン: [A-Za-z][A-Za-z0-9_.-]*

必須：はい

ruleName

更新する規則の名前。

長さの制限：最小長は 1 です。最大長は 255 です。

パターン: [A-Za-z][A-Za-z0-9_.-]*

必須: はい

リクエストボディ

リクエストは以下の JSON 形式のデータを受け入れます。

clientToken

クライアントトークン。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

filter

更新するルールに一致するフィルター。フィルターに一致するルールのみが更新されます。

タイプ: [Criterion](#) オブジェクトマップへの文字列です。

必須: はい

レスポンスの構文

```
HTTP/1.1 200
```

レスポンス要素

アクションが成功した場合、サービスは空の HTTP 本文を持つ HTTP 200 レスポンスを返します。

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[共通エラー](#)」を参照してください。

AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権限がありません。

HTTP ステータスコード: 403

InternalServerError

内部サーバーエラー。

HTTP ステータスコード : 500

ResourceNotFoundException

指定したリソースが見つかりませんでした。

HTTP ステータスコード: 404

ThrottlingException

スロットリング制限を超えましたエラー。

HTTP ステータスコード: 429

ValidationException

検証例外エラー。

HTTP ステータスコード : 400

その他の参照資料

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK for .NET](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK for PHP V3](#)
- [AWS SDK for Python](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

UpdateFindings

指定された結果のステータスを更新します。

リクエストの構文

```
PUT /finding HTTP/1.1
Content-type: application/json

{
  "analyzerArn": "string",
  "clientToken": "string",
  "ids": [ "string" ],
  "resourceArn": "string",
  "status": "string"
}
```

URI リクエストパラメータ

リクエストでは URI パラメータを使用しません。

リクエストボディ

リクエストは以下の JSON 形式のデータを受け入れます。

analyzerArn

更新する結果を生成したアナライザーの ARN。

型: 文字列

Pattern: `[^:]*:[^:]*:[^:]*:[^:]*:[^:]*:analyzer/.{1,255}`

必須: はい

clientToken

クライアントトークン。

型: 文字列

必須: いいえ

ids

更新する結果の ID。

型: 文字列の配列

必須: いいえ

resourceArn

結果で特定されたリソースの ARN。

型: 文字列

パターン: `arn:[^:]*:[^:]*:[^:]*:[^:]*:.*`

必須: いいえ

status

状態は、結果の Status を更新するために実行するアクションを表します。ARCHIVE アクティブな結果をアーカイブ済みの結果に変更する場合に使用します。ACTIVE アーカイブされた結果をアクティブな結果に変更する場合に使用します。

タイプ: 文字列

有効な値: ACTIVE | ARCHIVED

必須: はい

レスポンスの構文

HTTP/1.1 200

レスポンス要素

アクションが成功した場合、サービスは空の HTTP 本文を持つ HTTP 200 応答を返します。

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[共通エラー](#)」を参照してください。

AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権がありません。

HTTP ステータスコード: 403

InternalServerErrorException

内部サーバーエラー。

HTTP ステータスコード: 500

ResourceNotFoundException

指定したリソースが見つかりませんでした。

HTTP ステータスコード: 404

ThrottlingException

スロットリング制限がエラーを超えました。

HTTP ステータスコード: 429

ValidationException

検証例外エラー。

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDK のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK for .NET](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS JavaScript V3 用 SDK](#)
- [AWS SDK for PHP V3](#)

- [AWS SDK for Python](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

ValidatePolicy

ポリシーの検証をリクエストし、結果のリストを返します。検出結果は、問題を特定し、問題を解決するための実用的なレコメンデーションを提供し、セキュリティのベストプラクティスを満たす機能ポリシーを作成するのに役立ちます。

リクエストの構文

```
POST /policy/validation?maxResults=maxResults&nextToken=nextToken HTTP/1.1
Content-type: application/json
```

```
{
  "locale": "string",
  "policyDocument": "string",
  "policyType": "string",
  "validatePolicyResourceType": "string"
}
```

URI リクエストパラメータ

リクエストでは、次の URI パラメータを使用します。

[maxResults](#)

レスポンスで返される結果の最大数。

[nextToken](#)

返された結果のページ分割に使用されるトークン。

リクエストボディ

リクエストは以下の JSON 形式のデータを受け入れます。

[locale](#)

結果のローカライズに使用するロケールです。

型: 文字列

有効な値 : DE | EN | ES | FR | IT | JA | KO | PT_BR | ZH_CN | ZH_TW

必須: いいえ

[policyDocument](#)

ポリシーのコンテンツとして使用する JSON ポリシードキュメント。

型: 文字列

必須: はい

[policyType](#)

検証するポリシーのタイプ。ID ポリシーは、IAM プリンシパルにアクセス許可を付与します。ID ポリシーには、IAM ロール、ユーザー、グループの管理ポリシーとインラインポリシーが含まれます。

リソースポリシーは、AWS リソースに対するアクセス許可を付与します。リソースポリシーには、IAM ロールの信頼ポリシーと Amazon S3 バケットのバケットポリシーが含まれます。ID ポリシーやリソースポリシーなどの汎用入力や、管理ポリシーや Amazon S3 バケットポリシーなどの特定の入力を指定できます。

サービスコントロールポリシー (SCPsは、組織、組織単位 (OU)、またはアカウントにアタッチ AWS された組織ポリシーの一種です。

型: 文字列

有効な値: IDENTITY_POLICY | RESOURCE_POLICY | SERVICE_CONTROL_POLICY

必須: はい

[validatePolicyResourceType](#)

リソースポリシーにアタッチするリソースのタイプ。ポリシータイプが の場合にのみ、ポリシー検証リソースタイプの値を指定しますRESOURCE_POLICY。例えば、Amazon S3 バケットにアタッチするリソースポリシーを検証するには、ポリシー検証リソースタイプAWS::S3::Bucketとして を選択できます。

有効な値としてサポートされていないリソースタイプの場合、IAM Access Analyzer はすべてのリソースポリシーに適用されるポリシーチェックを実行します。例えば、KMS キーにアタッチするリソースポリシーを検証するには、ポリシー検証リソースタイプの値を指定しないでください。IAM Access Analyzer は、すべてのリソースポリシーに適用されるポリシーチェックを実行します。

型: 文字列

有効な値 : AWS::S3::Bucket | AWS::S3::AccessPoint |
AWS::S3::MultiRegionAccessPoint | AWS::S3ObjectLambda::AccessPoint |
AWS::IAM::AssumeRolePolicyDocument

必須 : いいえ

レスポンスの構文

```
HTTP/1.1 200
Content-type: application/json

{
  "findings": [
    {
      "findingDetails": "string",
      "findingType": "string",
      "issueCode": "string",
      "learnMoreLink": "string",
      "locations": [
        {
          "path": [
            { ... }
          ],
          "span": {
            "end": {
              "column": number,
              "line": number,
              "offset": number
            },
            "start": {
              "column": number,
              "line": number,
              "offset": number
            }
          }
        }
      ]
    }
  ],
  "nextToken": "string"
}
```

```
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

[findings](#)

IAM Access Analyzer がポリシーチェックのスイートに基づいて返すポリシー内の結果のリスト。

型: [ValidatePolicyFinding](#) オブジェクトの配列

[nextToken](#)

返された結果のページ分割に使用されるトークン。

型: 文字列

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[共通エラー](#)」を参照してください。

AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権限がありません。

HTTP ステータスコード: 403

InternalServerError

内部サーバーエラー。

HTTP ステータスコード : 500

ThrottlingException

スロットリング制限を超えたというエラー。

HTTP ステータスコード: 429

ValidationException

検証例外エラー。

HTTP ステータスコード : 400

その他の参照資料

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK for .NET](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK for PHP V3](#)
- [AWS SDK for Python](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

データ型

IAM Access AnalyzerAPI には、さまざまなアクションが使用する複数のデータ型が含まれています。このセクションでは、各データ型について詳しく説明します。

Note

データ型構造内の各要素の順序は保証されません。アプリケーションは特定の順序を想定するべきではありません。

以下のデータ型 (タイプ) がサポートされています。

- [Access](#)
- [AccessPreview](#)
- [AccessPreviewFinding](#)
- [AccessPreviewStatusReason](#)
- [AccessPreviewSummary](#)
- [AclGrantee](#)
- [AnalyzedResource](#)
- [AnalyzedResourceSummary](#)
- [AnalyzerConfiguration](#)
- [AnalyzerSummary](#)
- [ArchiveRuleSummary](#)
- [CloudTrailDetails](#)
- [CloudTrailProperties](#)
- [Configuration](#)
- [Criterion](#)
- [EbsSnapshotConfiguration](#)
- [EcrRepositoryConfiguration](#)
- [EfsFileSystemConfiguration](#)
- [ExternalAccessDetails](#)
- [Finding](#)

- [FindingDetails](#)
- [FindingSource](#)
- [FindingSourceDetail](#)
- [FindingSummary](#)
- [FindingSummaryV2](#)
- [GeneratedPolicy](#)
- [GeneratedPolicyProperties](#)
- [GeneratedPolicyResult](#)
- [IamRoleConfiguration](#)
- [InlineArchiveRule](#)
- [InternetConfiguration](#)
- [JobDetails](#)
- [JobError](#)
- [KmsGrantConfiguration](#)
- [KmsGrantConstraints](#)
- [KmsKeyConfiguration](#)
- [Location](#)
- [NetworkOriginConfiguration](#)
- [PathElement](#)
- [PolicyGeneration](#)
- [PolicyGenerationDetails](#)
- [Position](#)
- [RdsDbClusterSnapshotAttributeValue](#)
- [RdsDbClusterSnapshotConfiguration](#)
- [RdsDbSnapshotAttributeValue](#)
- [RdsDbSnapshotConfiguration](#)
- [ReasonSummary](#)
- [S3AccessPointConfiguration](#)
- [S3BucketAclGrantConfiguration](#)
- [S3BucketConfiguration](#)

- [S3ExpressDirectoryBucketConfiguration](#)
- [S3PublicAccessBlockConfiguration](#)
- [SecretsManagerSecretConfiguration](#)
- [SnsTopicConfiguration](#)
- [SortCriteria](#)
- [Span](#)
- [SqsQueueConfiguration](#)
- [StatusReason](#)
- [Substring](#)
- [Trail](#)
- [TrailProperties](#)
- [UnusedAccessConfiguration](#)
- [UnusedAction](#)
- [UnusedIamRoleDetails](#)
- [UnusedIamUserAccessKeyDetails](#)
- [UnusedIamUserPasswordDetails](#)
- [UnusedPermissionDetails](#)
- [ValidatePolicyFinding](#)
- [ValidationExceptionField](#)
- [VpcConfiguration](#)

Access

ポリシーと照合する権限を定義するアクションに関する情報が含まれます。

目次

actions

アクセス権限のアクションのリスト。IAM ポリシーのアクションとして使用できる任意の文字列を、チェックするアクションのリストに使用できます。

型: 文字列の配列

配列メンバー: 最小数は 0 項目です。最大数は 100 項目です。

必須: はい

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDK のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

AccessPreview

アクセスプレビューに関する情報が含まれます。

目次

analyzerArn

アクセスプレビューの生成に使用されたアナライザーの ARN。

型: 文字列

Pattern: `[\^:]*:[\^:]*:[\^:]*:[\^:]*:[\^:]*:analyzer/.[1,255}`

必須: はい

configurations

提案されたリソース構成のリソース ARN のマップ。

タイプ: [Configuration](#) オブジェクトマップへの文字列です。

必須: はい

createdAt

アクセスプレビューが作成された日時。

型: タイムスタンプ

必須: はい

id

アクセスプレビューのユニーク ID。

型: 文字列

Pattern: `[a-f0-9]{8}-[a-f0-9]{4}-[a-f0-9]{4}-[a-f0-9]{4}-[a-f0-9]{12}`

必須: はい

status

アクセスプレビューのステータス。

- `Creating`-アクセスプレビューの作成が進行中です。
- `Completed`-アクセスプレビューが完了しました。リソースへの外部アクセスの結果をプレビューできます。
- `Failed`-アクセスプレビューの作成に失敗しました。

タイプ: 文字列

有効な値: `COMPLETED` | `CREATING` | `FAILED`

必須: はい

`statusReason`

アクセスプレビューの現在のステータスに関する詳細が表示されます。

たとえば、アクセスプレビューの作成に失敗すると、`Failed`ステータスが返されます。この失敗は、分析に関する内部的な問題か、無効なリソース構成が原因である可能性があります。

型: [AccessPreviewStatusReason](#) オブジェクト

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDK のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

AccessPreviewFinding

アクセスプレビューによって生成されたアクセスプレビュー結果。

目次

changeType

アクセスプレビューの結果と IAM Access Analyzer で識別された既存のアクセスとの比較に関するコンテキストを提供します。

- New-この結果は新しく導入されたアクセスに関するものです。
- Unchanged-プレビューの結果は、変更されない既存の結果です。
- Changed-プレビュー結果とは、ステータスが変化した既存の結果です。

たとえば、「プレビューステータス」Resolvedと「Active既存ステータス」を含む結果であれば、Active既存の結果は提案された権限変更の結果であることがわかります。Changed Resolved

タイプ: 文字列

有効な値: CHANGED | NEW | UNCHANGED

必須: はい

createdAt

アクセスプレビュー結果が作成された日時。

型: タイムスタンプ

必須: はい

id

アクセスプレビュー結果の ID。この ID は、アクセスプレビュー結果のリスト内の要素を一意に識別するもので、Access Analyzer の検索結果 ID とは関係ありません。

型: 文字列

必須: はい

resourceOwnerAccount

リソースを所有する AWS アカウント ID。AWSほとんどのリソースでは、所有アカウントはリソースが作成されたアカウントです。

型: 文字列

必須: はい

resourceType

結果からアクセスできるリソースのタイプ。

タイプ: 文字列

有効な値: AWS::S3::Bucket | AWS::IAM::Role | AWS::SQS::Queue |
AWS::Lambda::Function | AWS::Lambda::LayerVersion | AWS::KMS::Key
| AWS::SecretsManager::Secret | AWS::EFS::FileSystem |
AWS::EC2::Snapshot | AWS::ECR::Repository | AWS::RDS::DBSnapshot
| AWS::RDS::DBClusterSnapshot | AWS::SNS::Topic |
AWS::S3Express::DirectoryBucket

必須: はい

status

結果のプレビューステータス。権限が配布された後の結果のステータスは次のとおりです。たとえば、「プレビューステータス」Resolvedと「Active既存ステータス」を含む結果であれば、Active既存の結果は提案された権限変更の結果であることがわかります。Changed Resolved

タイプ: 文字列

有効な値: ACTIVE | ARCHIVED | RESOLVED

必須: はい

action

分析されたポリシーステートメントのうち、外部のプリンシパルが実行権限を持っているアクション。

型: 文字列の配列

必須: いいえ

condition

分析対象となったポリシーステートメントの条件です。

型: 文字列間のマッピング

必須: いいえ

error

エラー。

型: 文字列

必須: いいえ

existingFindingId

IAM Access Analyzer 内の結果の既存の ID。既存の結果にのみ提供されています。

型: 文字列

必須: いいえ

existingFindingStatus

結果の現在のステータス。既存の結果にのみ表示されます。

タイプ: 文字列

有効な値: ACTIVE | ARCHIVED | RESOLVED

必須: いいえ

isPublic

調査結果を生成したポリシーがリソースへのパブリックアクセスを許可しているかどうかを示します。

タイプ: ブール

必須: いいえ

principal

トラストゾーン内のリソースにアクセスできる外部プリンシパル。

型: 文字列間のマッピング

必須: いいえ

resource

外部プリンシパルがアクセスできるリソース。これはアクセスプレビューに関連するリソースです。

型: 文字列

必須: いいえ

sources

調査結果の情報源。これは、結果を生成したアクセスがどのように許可されるかを示します。Amazon S3 バケットの結果のために入力されます。

型: [FindingSource](#) オブジェクトの配列

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDK のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

AccessPreviewStatusReason

アクセスプレビューの現在のステータスに関する詳細が表示されます。たとえば、アクセスプレビューの作成に失敗すると、Failedステータスが返されます。この失敗は、分析に関する内部的な問題か、提案されたリソース構成が無効であることが原因である可能性があります。

目次

code

アクセスプレビューの現在のステータスの理由コード。

タイプ: 文字列

有効な値: INTERNAL_ERROR | INVALID_CONFIGURATION

必須: はい

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDK のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

AccessPreviewSummary

アクセスプレビューに関する情報の概要が含まれます。

目次

analyzerArn

アクセスプレビューの生成に使用されたアナライザーの ARN。

型: 文字列

Pattern: `^[^:]*:[^:]*:[^:]*:[^:]*:[^:]*:analyzer/.{1,255}`

必須: はい

createdAt

アクセスプレビューが作成された日時。

型: タイムスタンプ

必須: はい

id

アクセスプレビューのユニーク ID。

型: 文字列

Pattern: `[a-f0-9]{8}-[a-f0-9]{4}-[a-f0-9]{4}-[a-f0-9]{4}-[a-f0-9]{12}`

必須: はい

status

アクセスプレビューのステータス。

- `Creating`-アクセスプレビューの作成が進行中です。
- `Completed`-アクセスプレビューが完了し、リソースへの外部アクセスの結果がプレビューされます。
- `Failed`-アクセスプレビューの作成に失敗しました。

タイプ: 文字列

有効な値: COMPLETED | CREATING | FAILED

必須: はい

statusReason

アクセスプレビューの現在のステータスに関する詳細が表示されます。たとえば、アクセスプレビューの作成に失敗すると、Failedステータスが返されます。この失敗は、分析に関する内部的な問題か、提案されたリソース構成が無効であることが原因である可能性があります。

型: [AccessPreviewStatusReason](#) オブジェクト

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDK のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

AclGrantee

各被付与者は、次のいずれかのタイプを使用してタイプと値のペアとして指定します。被付与者のタイプは 1 つだけ指定できます。詳細については、[を参照してください](#) [PutBucketAcl](#)。

目次

Important

このデータ型は UNION なので、使用時または返却時に指定できるのは、次のメンバーのうちの 1 つだけです。

id

指定された値は、の正規ユーザー ID です。AWS アカウント

型: 文字列

必須: いいえ

uri

定義済みのグループに権限を付与するために使用されます。

型: 文字列

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDK のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

AnalyzedResource

分析されたリソースに関する詳細が含まれます。

目次

analyzedAt

リソースが分析された日時。

型: タイムスタンプ

必須: はい

createdAt

結果が作成された日時。

型: タイムスタンプ

必須: はい

isPublic

結果を生成したポリシーがリソースへのパブリックアクセスを許可しているかどうかを示します。

タイプ: ブール

必須: はい

resourceArn

分析されたリソースの ARN。

型: 文字列

Pattern: `arn:[^:]*:[^:]*:[^:]*:[^:]*:.*`

必須: はい

resourceOwnerAccount

リソースを所有する AWS アカウント ID。

型: 文字列

必須: はい

resourceType

分析されたリソースのタイプ。

タイプ: 文字列

有効な値: AWS::S3::Bucket | AWS::IAM::Role | AWS::SQS::Queue |
AWS::Lambda::Function | AWS::Lambda::LayerVersion | AWS::KMS::Key
| AWS::SecretsManager::Secret | AWS::EFS::FileSystem |
AWS::EC2::Snapshot | AWS::ECR::Repository | AWS::RDS::DBSnapshot
| AWS::RDS::DBClusterSnapshot | AWS::SNS::Topic |
AWS::S3Express::DirectoryBucket

必須: はい

updatedAt

結果が更新された日時。

型: タイムスタンプ

必須: はい

actions

結果を生成したポリシーによって外部プリンシパルが使用を許可されたアクション。

型: 文字列の配列

必須: いいえ

error

エラーメッセージ。

型: 文字列

必須: いいえ

sharedVia

結果を生成したアクセスがどのように付与されるかを示します。これは Amazon S3 バケットの
結果のために入力されます。

型: 文字列の配列

必須: いいえ

status

分析されたリソースから生成された結果の現在のステータス。

タイプ: 文字列

有効な値: ACTIVE | ARCHIVED | RESOLVED

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDK のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

AnalyzedResourceSummary

分析されたリソースの ARN が含まれます。

目次

resourceArn

分析されたリソースの ARN。

型: 文字列

Pattern: `arn:[^:]*:[^:]*:[^:]*:[^:]*:.*`

必須: はい

resourceOwnerAccount

リソースを所有する AWS アカウント ID。

型: 文字列

必須: はい

resourceType

分析されたリソースのタイプ。

タイプ: 文字列

有効な値: `AWS::S3::Bucket` | `AWS::IAM::Role` | `AWS::SQS::Queue` |
`AWS::Lambda::Function` | `AWS::Lambda::LayerVersion` | `AWS::KMS::Key`
| `AWS::SecretsManager::Secret` | `AWS::EFS::FileSystem` |
`AWS::EC2::Snapshot` | `AWS::ECR::Repository` | `AWS::RDS::DBSnapshot`
| `AWS::RDS::DBClusterSnapshot` | `AWS::SNS::Topic` |
`AWS::S3Express::DirectoryBucket`

必須: はい

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDK のいずれかでこの API を使用する方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

AnalyzerConfiguration

AWS組織またはアカウントの未使用のアクセスアナライザーの構成に関する情報が含まれます。

目次

Important

このデータ型は UNION なので、使用時または返却時に指定できるのは以下のメンバーのうちの 1 つだけです。

unusedAccess

AWS組織またはアカウントの未使用のアクセスアナライザーの設定を指定します。外部アクセスアナライザーはいかなる構成もサポートしていません。

型: [UnusedAccessConfiguration](#) オブジェクト

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDK のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

AnalyzerSummary

アナライザーに関する情報が含まれます。

目次

arn

アナライザーの ARN。

型: 文字列

Pattern: `[\^:]*:[\^:]*:[\^:]*:[\^:]*:[\^:]*:analyzer/.{1,255}`

必須: はい

createdAt

アナライザーが作成された時刻のタイムスタンプ。

型: タイムスタンプ

必須: はい

name

アナライザーの名前。

型: 文字列

長さの制限: 最小長は 1 です。最大長は 255 です。

パターン: `[A-Za-z][A-Za-z0-9_.-]*`

必須: はい

status

アナライザーのステータス。Activeアナライザーは、サポートされているリソースを正常に監視し、新しい結果を生成します。アナライザーはDisabled、AWS Identity and Access Management Access Analyzerからの信頼できるアクセスを削除するなどのユーザーアクションによりAWS Organizations、アナライザーが新しい結果の生成を停止することです。ステータスは、Creatingアナライザーの作成が進行中であり、Failedアナライザーの作成が失敗したときです。

タイプ: 文字列

有効な値: ACTIVE | CREATING | DISABLED | FAILED

必須: はい

type

アナライザーのタイプ。アナライザー用に選択した信頼ゾーンに対応します。

タイプ: 文字列

有効な値: ACCOUNT | ORGANIZATION | ACCOUNT_UNUSED_ACCESS | ORGANIZATION_UNUSED_ACCESS

必須: はい

configuration

アナライザーが外部アクセスアナライザーなのか、未使用のアクセスアナライザーなのかを指定します。

型: [AnalyzerConfiguration](#) オブジェクト

注:このオブジェクトは Union です。このオブジェクトのメンバーは 1 つだけ指定または取得できます。

必須: いいえ

lastResourceAnalyzed

アナライザーが最後に分析したリソース。

型: 文字列

必須: いいえ

lastResourceAnalyzedAt

最後に分析されたリソースが分析された日時。

型: タイムスタンプ

分位数は、確率分布を等しい確率の領域に分割したものです。

statusReason

statusReasonには、アナライザーの現在のステータスに関する詳細が表示されます。たとえば、アナライザーの作成に失敗すると、Failedステータスが返されます。タイプが「組織」のアナライザーの場合、この失敗は、組織のメンバーアカウントに必要なサービスにリンクされたロールの作成に問題があることが原因である可能性があります。AWS

型: [StatusReason](#) オブジェクト

必須: いいえ

tags

アナライザーに追加されたタグ。

型: 文字列間のマッピング

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDK のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

ArchiveRuleSummary

アーカイブルールに関する情報が含まれます。

目次

createdAt

アーカイブルールが作成された日時。

型: タイムスタンプ

必須: はい

filter

アーカイブルールを定義するために使用されるフィルター。

タイプ: [Criterion](#) オブジェクトマップへの文字列です。

必須: はい

ruleName

アーカイブルールの名前。

型: 文字列

長さの制限: 最小長は 1 です。最大長は 255 です。

パターン: [A-Za-z][A-Za-z0-9_.-]*

必須: はい

updatedAt

アーカイブルールが最後に更新された時刻。

型: タイムスタンプ

必須: はい

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDK のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

CloudTrailDetails

CloudTrail アクセスに関する情報が含まれています。

目次

accessRole

IAM Access Analyzer CloudTrail がトレイルとサービスの最終アクセス情報にアクセスするために使用するサービスロールの ARN。

型: 文字列

Pattern: `arn:[^:]*:iam::[^:]*:role/.{1,576}`

必須: はい

startTime

IAM Access Analyzer がイベントをレビューする時間範囲の開始日です。CloudTrail この時間より前のタイムスタンプが付いたイベントは、ポリシーの生成とは見なされません。

型: タイムスタンプ

必須: はい

trails

Trailトレイルの設定を含むオブジェクト。

型: [Trail](#) オブジェクトの配列

必須: はい

endTime

IAM Access Analyzer CloudTrail がイベントをレビューする時間範囲の終了日。この時間以降のタイムスタンプが付いたイベントは、ポリシーの生成とは見なされません。これがリクエストに含まれていない場合、デフォルト値は現在の時刻です。

型: タイムスタンプ

分位数は、確率分布を等しい確率の領域に分割したものです。

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDK のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

CloudTrailProperties

CloudTrail アクセスに関する情報が含まれています。

目次

endTime

IAM Access Analyzer CloudTrail がイベントをレビューする時間範囲の終了日。この時間以降のタイムスタンプが付いたイベントは、ポリシーの生成とは見なされません。これがリクエストに含まれていない場合、デフォルト値は現在の時刻です。

型: タイムスタンプ

必須: はい

startTime

IAM Access Analyzer がイベントをレビューする時間範囲の開始日です。CloudTrail この時間より前のタイムスタンプが付いたイベントは、ポリシーの生成とは見なされません。

型: タイムスタンプ

必須: はい

trailProperties

TrailPropertiesトレイルプロパティの設定を含むオブジェクト。

型: [TrailProperties](#) オブジェクトの配列

必須: はい

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDK のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)

- [AWS SDK for Ruby V3](#)

Configuration

リソースのアクセス制御構成構造。設定はタイプと値のペアとして指定します。指定できるアクセス制御設定は 1 種類だけです。

目次

Important

このデータ型は UNION なので、使用時または返却時に指定できるのは以下のメンバーのうちの 1 つだけです。

ebsSnapshot

アクセスコントロール設定は Amazon EBS ボリュームスナップショット用です。

型: [EbsSnapshotConfiguration](#) オブジェクト

必須: いいえ

ecrRepository

アクセスコントロール設定は Amazon ECR リポジトリ用です。

型: [EcrRepositoryConfiguration](#) オブジェクト

必須: いいえ

efsFileSystem

アクセスコントロール設定は Amazon EFS ファイルシステム用です。

型: [EfsFileSystemConfiguration](#) オブジェクト

必須: いいえ

iamRole

アクセスコントロール設定は IAM ロール用です。

型: [IamRoleConfiguration](#) オブジェクト

必須: いいえ

kmsKey

アクセス制御設定は KMS キー用です。

型: [KmsKeyConfiguration](#) オブジェクト

必須: いいえ

rdsDbClusterSnapshot

アクセスコントロール設定は Amazon RDS DB クラスタースナップショット用です。

型: [RdsDbClusterSnapshotConfiguration](#) オブジェクト

必須: いいえ

rdsDbSnapshot

アクセスコントロール設定は Amazon RDS DB スナップショット用です。

型: [RdsDbSnapshotConfiguration](#) オブジェクト

必須: いいえ

s3Bucket

アクセスコントロール設定は Amazon S3 バケット用です。

型: [S3BucketConfiguration](#) オブジェクト

必須: いいえ

s3ExpressDirectoryBucket

アクセスコントロール設定は Amazon S3 デイレクトリバケット用です。

型: [S3ExpressDirectoryBucketConfiguration](#) オブジェクト

必須: いいえ

secretsManagerSecret

アクセス制御設定は Secrets Manager シークレット用です。

型: [SecretsManagerSecretConfiguration](#) オブジェクト

必須: いいえ

snsTopic

アクセスコントロール設定は Amazon SNS トピック用です

型: [SnsTopicConfiguration](#) オブジェクト

必須: いいえ

sqsQueue

アクセスコントロール設定は Amazon SQS キュー用です。

型: [SqsQueueConfiguration](#) オブジェクト

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDK のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

Criterion

アーカイブルールを定義するフィルタで使用する基準。使用可能なフィルターキーの詳細については、「[IAM Access Analyzer のフィルターキー](#)」を参照してください。

目次

contains

ルールの作成に使用されたフィルターと一致する「contains」演算子。

型: 文字列の配列

配列メンバー: 最小数は 1 項目です。最大数は 20 項目です。

必須: いいえ

eq

ルールの作成に使用されたフィルターと一致する「等しい」演算子。

型: 文字列の配列

配列メンバー: 最小数は 1 項目です。最大数は 20 項目です。

必須: いいえ

exists

ルールの作成に使用されたフィルターと一致する「exists」演算子。

タイプ: ブール

必須: いいえ

neq

ルールの作成に使用したフィルターと一致する「等しくない」演算子。

型: 文字列の配列

配列メンバー: 最小数は 1 項目です。最大数は 20 項目です。

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDK のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

EbsSnapshotConfiguration

Amazon EBS ボリュームスナップショット用に提案されているアクセス制御設定。ユーザー ID、グループ、AWS KMS オプションの暗号化キーを指定することで、新しい Amazon EBS ボリュームスナップショットまたは所有している Amazon EBS ボリュームスナップショットの設定を提案できます。詳細については、「」を参照してください。 [ModifySnapshotAttribute](#)

目次

groups

Amazon EBS ボリュームスナップショットにアクセスできるグループ。all値が指定されている場合、Amazon EBS ボリュームスナップショットはパブリックです。

- 設定が既存の Amazon EBS ボリュームスナップショット用で、を指定しない場合 groups、groups アクセスプレビューではスナップショットの既存の共有が使用されます。
- アクセスプレビューが新しいリソースを対象としており、を指定しない場合 groups、アクセスプレビューではスナップショットが何もないものとみなされます。 groups
- 既存の共有の削除を提案するには groups、に空のリストを指定できます。 groups

型: 文字列の配列

必須: いいえ

kmsKeyId

暗号化された Amazon EBS ボリュームスナップショットの KMS キー識別子。KMS キー識別子は、KMS キーのキー ARN、キー ID、エイリアス ARN、またはエイリアス名です。

- 設定が既存の Amazon EBS ボリュームスナップショット用で、を指定しない場合 kmsKeyId、または空の文字列を指定した場合、kmsKeyId アクセスプレビューでは既存のスナップショットが使用されます。
- アクセスプレビューが新しいリソース用で、を指定しない場合 kmsKeyId、アクセスプレビューはそのスナップショットが暗号化されていないと見なします。

型: 文字列

必須: いいえ

userIds

Amazon EBS AWS アカウント ボリュームスナップショットにアクセスできるの ID。

- 設定が既存の Amazon EBS ボリュームスナップショット用で、を指定しない場合userIds、userIdsアクセスプレビューではスナップショットの既存の共有が使用されません。
- アクセスプレビューが新しいリソースを対象としており、を指定しない場合userIds、アクセスプレビューではスナップショットが何もないものとみなされます。userIds
- 既存の共有の削除を提案するにはaccountIds、に空のリストを指定できます。userIds

型: 文字列の配列

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDK のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

EcrRepositoryConfiguration

Amazon ECR リポジトリ用に提案されているアクセスコントロール設定。Amazon ECR ポリシーを指定することで、新しい Amazon ECR リポジトリまたは所有する既存の Amazon ECR リポジトリの設定を提案できます。[詳細については、「リポジトリ」を参照してください。](#)

- 設定が既存の Amazon ECR リポジトリ用で、Amazon ECR ポリシーを指定しない場合、アクセスプレビューはリポジトリの既存の Amazon ECR ポリシーを使用します。
- アクセスプレビューが新しいリソースを対象としており、ポリシーを指定しない場合、アクセスプレビューはポリシーのない Amazon ECR リポジトリを想定します。
- 既存の Amazon ECR リポジトリポリシーの削除を提案するには、Amazon ECR ポリシーに空の文字列を指定できます。

目次

repositoryPolicy

Amazon ECR リポジトリに適用する JSON リポジトリポリシーテキスト。詳細については、Amazon ECR ユーザーガイドの「[プライベートリポジトリポリシーの例](#)」を参照してください。

型: 文字列

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDK のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

EfsFileSystemConfiguration

Amazon EFS ファイルシステムのアクセス制御構成案です。Amazon EFS ポリシーを指定することで、新しい Amazon EFS ファイルシステム、または所有している既存の Amazon EFS ファイルシステムの設定を提案できます。詳細については、「[Amazon EFS でのファイルシステムの使用](#)」を参照してください。

- 設定が既存の Amazon EFS ファイルシステム用で、Amazon EFS ポリシーを指定しない場合、アクセスプレビューはファイルシステムの既存の Amazon EFS ポリシーを使用します。
- アクセスプレビューが新しいリソース用で、ポリシーを指定しない場合、アクセスプレビューはポリシーのない Amazon EFS ファイルシステムを想定します。
- 既存の Amazon EFS ファイルシステムポリシーの削除を提案するには、Amazon EFS ポリシーに空の文字列を指定できます。

目次

fileSystemPolicy

Amazon EFS ファイルシステムに適用する JSON ポリシー定義。ファイルシステムポリシーを構成する要素の詳細については、「[Amazon EFS リソースベースのポリシー](#)」を参照してください。

型: 文字列

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDK のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

ExternalAccessDetails

外部アクセス結果に関する情報が含まれます。

目次

condition

分析されたポリシーステートメントのうち、外部アクセス結果になった条件です。

型: 文字列間のマッピング

必須: はい

action

分析されたポリシーステートメントのうち、外部プリンシパルが使用権限を持っているアクション。

型: 文字列の配列

必須: いいえ

isPublic

外部アクセス結果を公開するかどうかを指定します。

タイプ: ブール

必須: いいえ

principal

トラストゾーン内のリソースにアクセスできる外部プリンシパル。

型: 文字列間のマッピング

必須: いいえ

sources

外部アクセス結果のソース。これは、結果を生成したアクセスがどのように許可されるかを示します。Amazon S3 バケットの結果のために入力されます。

型: [FindingSource](#) オブジェクトの配列

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDK のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

Finding

結果に関する情報が含まれます。

目次

analyzedAt

リソースが分析された日時。

型: タイムスタンプ

必須: はい

condition

分析対象となったポリシーステートメントの条件。

型: 文字列間のマッピング

必須: はい

createdAt

調査結果が生成された日時。

型: タイムスタンプ

必須: はい

id

結果の ID。

型: 文字列

必須: はい

resourceOwnerAccount

リソースを所有する AWS アカウント ID。

型: 文字列

必須: はい

resourceType

結果で特定されたリソースのタイプ。

タイプ: 文字列

有効な値: AWS::S3::Bucket | AWS::IAM::Role | AWS::SQS::Queue |
AWS::Lambda::Function | AWS::Lambda::LayerVersion | AWS::KMS::Key
| AWS::SecretsManager::Secret | AWS::EFS::FileSystem |
AWS::EC2::Snapshot | AWS::ECR::Repository | AWS::RDS::DBSnapshot
| AWS::RDS::DBClusterSnapshot | AWS::SNS::Topic |
AWS::S3Express::DirectoryBucket

必須: はい

status

結果の現在のステータス。

タイプ: 文字列

有効な値: ACTIVE | ARCHIVED | RESOLVED

必須: はい

updatedAt

結果が更新された日時。

型: タイムスタンプ

必須: はい

action

分析されたポリシーステートメントのうち、外部プリンシパルが使用権限を持っているアクション。

型: 文字列の配列

必須: いいえ

error

エラー。

型: 文字列

必須: いいえ

isPublic

結果を生成したポリシーがリソースへのパブリックアクセスを許可しているかどうかを示します。

タイプ: ブール

必須: いいえ

principal

トラストゾーン内のリソースにアクセスできる外部プリンシパル。

型: 文字列間のマッピング

必須: いいえ

resource

外部プリンシパルがアクセスできるリソース。

型: 文字列

必須: いいえ

sources

調査結果の情報源。これは、結果を生成したアクセスがどのように許可されるかを示します。Amazon S3 バケットの結果のために入力されます。

型: [FindingSource](#) オブジェクトの配列

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDK のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)

- [AWS SDK for Go](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

FindingDetails

外部アクセスまたは未使用のアクセス結果に関する情報が含まれます。1 FindingDetails つのオブジェクトで利用できるパラメータは 1 つだけです。

目次

Important

このデータ型は UNION なので、使用時または返却時に指定できるのは以下のメンバーのうちの 1 つだけです。

externalAccessDetails

外部アクセスアナライザーによる結果の詳細。

型: [ExternalAccessDetails](#) オブジェクト

必須: いいえ

unusedIamRoleDetails

未使用の IAM ロール検索タイプによる未使用のアクセスアナライザー結果の詳細。

型: [UnusedIamRoleDetails](#) オブジェクト

必須: いいえ

unusedIamUserAccessKeyDetails

未使用の IAM ユーザーアクセスキー検索タイプによる未使用のアクセスアナライザー結果の詳細。

型: [UnusedIamUserAccessKeyDetails](#) オブジェクト

必須: いいえ

unusedIamUserPasswordDetails

未使用の IAM ユーザーパスワード検索タイプによる未使用のアクセスアナライザー結果の詳細。

型: [UnusedIamUserPasswordDetails](#) オブジェクト

必須: いいえ

unusedPermissionDetails

未使用のアクセスアナライザーの結果と未使用の権限検索結果の詳細。

型: [UnusedPermissionDetails](#) オブジェクト

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDK のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

FindingSource

調査結果のソース。これは、結果を生成したアクセスがどのように許可されるかを示します。Amazon S3 バケットの結果のために入力されます。

目次

type

結果を生成したアクセスタイプを示します。

タイプ: 文字列

有効な値: POLICY | BUCKET_ACL | S3_ACCESS_POINT | S3_ACCESS_POINT_ACCOUNT

必須: はい

detail

結果を生成したアクセスがどのように付与されるかについての詳細が含まれます。これは Amazon S3 バケットの検出結果のために入力されます。

型: [FindingSourceDetail](#) オブジェクト

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDK のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

FindingSourceDetail

結果を生成したアクセスがどのように許可されるかについての詳細が含まれます。これは Amazon S3 バケットの検出結果のために入力されます。

目次

accessPointAccount

結果を生成したクロスアカウントアクセスポイントのアカウント。

型: 文字列

必須: いいえ

accessPointArn

結果を生成したアクセスポイントの ARN。ARN 形式は、ARN がアクセスポイントを表しているのか、マルチリージョンアクセスポイントを表しているのかによって異なります。

型: 文字列

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDK のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

FindingSummary

結果に関する情報が含まれます。

目次

analyzedAt

結果を生成したリソースベースのポリシーが分析された日時。

型: タイムスタンプ

必須: はい

condition

分析対象となったポリシーステートメントの条件。

型: 文字列間のマッピング

必須: はい

createdAt

調査結果が作成された日時。

型: タイムスタンプ

必須: はい

id

結果の ID。

型: 文字列

必須: はい

resourceOwnerAccount

リソースを所有する AWS アカウント ID。

型: 文字列

必須: はい

resourceType

外部プリンシパルがアクセスできるリソースのタイプ。

タイプ: 文字列

有効な値: AWS::S3::Bucket | AWS::IAM::Role | AWS::SQS::Queue |
AWS::Lambda::Function | AWS::Lambda::LayerVersion | AWS::KMS::Key
| AWS::SecretsManager::Secret | AWS::EFS::FileSystem |
AWS::EC2::Snapshot | AWS::ECR::Repository | AWS::RDS::DBSnapshot
| AWS::RDS::DBClusterSnapshot | AWS::SNS::Topic |
AWS::S3Express::DirectoryBucket

必須: はい

status

調査結果のステータス。

タイプ: 文字列

有効な値: ACTIVE | ARCHIVED | RESOLVED

必須: はい

updatedAt

結果が最後に更新された日時。

型: タイムスタンプ

必須: はい

action

分析されたポリシーステートメントのうち、外部プリンシパルが使用権限を持っているアクション。

型: 文字列の配列

必須: いいえ

error

エラー検出に至ったエラー。

型: 文字列

必須: いいえ

isPublic

パブリックアクセスを許可するポリシーを持つリソースが結果によって報告されるかどうかを示します。

タイプ: ブール

必須: いいえ

principal

トラストゾーン内のリソースにアクセスできる外部プリンシパル。

型: 文字列間のマッピング

必須: いいえ

resource

外部プリンシパルがアクセスできるリソース。

型: 文字列

必須: いいえ

sources

調査結果の情報源。これは、結果を生成したアクセスがどのように許可されるかを示します。Amazon S3 バケットの結果のために入力されます。

型: [FindingSource](#) オブジェクトの配列

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDK のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)

- [AWS SDK for Go](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

FindingSummaryV2

結果に関する情報が含まれます。

目次

analyzedAt

結果を生成したリソースベースのポリシーまたは IAM エンティティが分析された日時。

型: タイムスタンプ

必須: はい

createdAt

結果が作成された日時。

型: タイムスタンプ

必須: はい

id

結果の ID。

型: 文字列

必須: はい

resourceOwnerAccount

リソースを所有する AWS アカウント ID。

型: 文字列

必須: はい

resourceType

外部プリンシパルがアクセスできるリソースのタイプ。

タイプ: 文字列

有効な値: AWS::S3::Bucket | AWS::IAM::Role | AWS::SQS::Queue |
AWS::Lambda::Function | AWS::Lambda::LayerVersion | AWS::KMS::Key

| AWS::SecretsManager::Secret | AWS::EFS::FileSystem |
AWS::EC2::Snapshot | AWS::ECR::Repository | AWS::RDS::DBSnapshot
| AWS::RDS::DBClusterSnapshot | AWS::SNS::Topic |
AWS::S3Express::DirectoryBucket

必須: はい

status

調査結果のステータス。

タイプ: 文字列

有効な値: ACTIVE | ARCHIVED | RESOLVED

必須: はい

updatedAt

結果が最後に更新された日時。

型: タイムスタンプ

必須: はい

error

エラー検出に至ったエラー。

型: 文字列

必須: いいえ

findingType

外部アクセスまたは未使用のアクセス結果のタイプ。

タイプ: 文字列

有効な値: ExternalAccess | UnusedIAMRole | UnusedIAMUserAccessKey |
UnusedIAMUserPassword | UnusedPermission

必須: いいえ

resource

外部プリンシパルがアクセスできるリソース。

型: 文字列

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDK のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

GeneratedPolicy

生成されたポリシーのテキストが含まれます。

目次

policy

新しいポリシーのコンテンツとして使用するテキスト。ポリシーは、[CreatePolicy](#)アクションを使用して作成されます。

型: 文字列

必須: はい

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDK のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

GeneratedPolicyProperties

生成されたポリシーの詳細が含まれます。

目次

principalArn

ポリシーを生成する IAM エンティティ (ユーザーまたはロール) の ARN。

型: 文字列

Pattern: `arn:[^:]*:iam::[^:]*:(role|user)/.{1,576}`

必須: はい

cloudTrailProperties

Trail生成されたポリシーに使用された詳細を一覧表示します。

型: [CloudTrailProperties](#) オブジェクト

必須: いいえ

isComplete

この値は、IAM Access Analyzer true CloudTrail が指定したトレイルから特定したサービスに対して実行可能なアクションがすべて生成されたポリシーに含まれている場合、それ以外の場合には設定されます。false

タイプ: ブール

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDK のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)

- [AWS SDK for Ruby V3](#)

GeneratedPolicyResult

生成されたポリシーのテキストとその詳細が含まれます。

目次

properties

`GeneratedPolicyProperties` 生成されたポリシーのプロパティを含むオブジェクト。

型: [GeneratedPolicyProperties](#) オブジェクト

必須: はい

generatedPolicies

新しいポリシーのコンテンツとして使用するテキスト。ポリシーは、[CreatePolicy](#) アクションを使用して作成されます。

型: [GeneratedPolicy](#) オブジェクトの配列

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDK のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

IamRoleConfiguration

IAM ロール用に提案されているアクセス制御設定。信頼ポリシーを指定することで、新しい IAM ロールまたは所有している既存の IAM ロールの設定を提案できます。新しい IAM ロール用の設定の場合は、信頼ポリシーを指定する必要があります。所有している既存の IAM ロールの設定で、信頼ポリシーを提案しない場合、アクセスプレビューではロールに既存の信頼ポリシーが使用されます。提示された信頼ポリシーを空の文字列にすることはできません。ロールの信頼ポリシーの制限について詳しくは、「[IAM AWS STS とクォータ](#)」を参照してください。

目次

trustPolicy

IAM ロール用に提案されている信頼ポリシー。

型: 文字列

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDK のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

InlineArchiveRule

アーカイブ規則の基準ステートメント。各アーカイブ規則には複数の条件を設定できます。

目次

filter

基準の条件と値。

タイプ: [Criterion](#) オブジェクトマップへの文字列です。

必須: はい

ruleName

ルールの名前。

型: 文字列

長さの制限: 最小長は 1 です。最大長は 255 です。

パターン: `[A-Za-z][A-Za-z0-9_.-]*`

必須: はい

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDK のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

InternetConfiguration

この設定では、Amazon S3 アクセスポイントまたはマルチリージョンアクセスポイントのネットワークオリジンをに設定します。Internet

目次

この例外構造のメンバーはコンテキストに依存します。

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDK のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

JobDetails

ポリシー生成要求に関する詳細が含まれます。

目次

jobId

JobIdStartPolicyGenerationこれは操作によって返されます。GetGeneratedPolicyと併用して生成されたポリシーを取得したり、CancelPolicyGenerationと併用してポリシー生成要求をキャンセルしたりできます。JobId

型: 文字列

必須: はい

startedOn

ジョブが開始されたときのタイムスタンプ。

型: タイムスタンプ

必須: はい

status

ジョブリクエストのステータス。

タイプ: 文字列

有効な値: IN_PROGRESS | SUCCEEDED | FAILED | CANCELED

必須: はい

completedOn

ジョブが完了したときのタイムスタンプ。

型: タイムスタンプ

分位数は、確率分布を等しい確率の領域に分割したものです。

jobError

ポリシー生成リクエストのジョブエラー。

型: [JobError](#) オブジェクト

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDK のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

JobError

ポリシー生成エラーに関する詳細が含まれます。

目次

code

ジョブエラーコード。

タイプ: 文字列

有効な値: AUTHORIZATION_ERROR | RESOURCE_NOT_FOUND_ERROR | SERVICE_QUOTA_EXCEEDED_ERROR | SERVICE_ERROR

必須: はい

message

エラーに関する具体的な情報。たとえば、どのサービスクォータを超過したか、どのリソースが見つからなかったかなどです。

型: 文字列

必須: はい

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDK のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

KmsGrantConfiguration

KMS キーのグラント設定の提案。詳細については、「」を参照してください [CreateGrant](#)。

目次

granteePrincipal

グラントが許可する操作を実行する権限を与えられたプリンシパル。

型: 文字列

必須: はい

issuingAccount

助成金が発行された日時。AWS アカウントこのアカウントは、AWS KMSキーの所有者以外のアカウントが発行したグラントの提案に使用されます。

型: 文字列

必須: はい

operations

グラントが許可する操作のリスト。

型: 文字列の配列

有効な値: CreateGrant | Decrypt | DescribeKey | Encrypt | GenerateDataKey | GenerateDataKeyPair | GenerateDataKeyPairWithoutPlaintext | GenerateDataKeyWithoutPlaintext | GetPublicKey | ReEncryptFrom | ReEncryptTo | RetireGrant | Sign | Verify

必須: はい

constraints

[この構造を使用して、操作リクエストに指定された暗号化コンテキストが含まれている場合のみ、グラントで暗号化操作を許可することを提案します。](#)

型: [KmsGrantConstraints](#) オブジェクト

必須: いいえ

retiringPrincipal

操作を使用して権限を廃止する権限を付与されたプリンシパル。 [RetireGrant](#)

型: 文字列

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDK のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

KmsGrantConstraints

この構造を使用して、[操作リクエストに指定された暗号化コンテキストが含まれている場合にのみ](#)、[グラントで暗号化操作を許可することを提案します](#)。指定できる暗号化コンテキストは 1 種類だけです。空のマップは指定されていないものとして扱われます。詳細については、[を参照してください](#) [GrantConstraints](#)。

目次

encryptionContextEquals

[暗号化操作リクエストの暗号化コンテキストと一致する必要があるキーと値のペアのリスト](#)。許可によって操作が許可されるのは、リクエスト内の暗号化コンテキストが、この制約で指定された暗号化コンテキストと同じ場合のみです。

型: 文字列間のマッピング

必須: いいえ

encryptionContextSubset

[暗号化操作リクエストの暗号化コンテキストに含める必要があるキーと値のペアのリスト](#)。この許可によって暗号化操作が許可されるのは、リクエスト内の暗号化コンテキストにこの制約で指定されたキーと値のペアが含まれている場合のみですが、キーと値のペアを追加することもできます。

型: 文字列間のマッピング

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDK のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

KmsKeyConfiguration

KMS キーのアクセス制御構成を提案しました。キーポリシーとグラント設定を指定することで、新しい KMS キーまたは所有している既存の KMS キーの設定を提案できます。AWS KMS 構成が既存のキー用で、キーポリシーを指定しない場合、アクセスプレビューではキーの既存のポリシーが使用されます。アクセスプレビューが新しいリソースに対するもので、キーポリシーを指定しない場合、アクセスプレビューはデフォルトのキーポリシーを使用します。提案されたキーポリシーを空の文字列にすることはできません。詳しくは、「[デフォルトキーポリシー](#)」を参照してください。キーポリシー制限について詳しくは、「[リソースクォータ](#)」を参照してください。

目次

grants

KMS キーに対して提案されているグラント設定のリスト。提案されている権限設定が既存のキーに関するものである場合、アクセスプレビューでは、既存の権限の代わりに提案された権限設定のリストが使用されます。それ以外の場合、アクセスプレビューはキーの既存の許可を使用します。

型: [KmsGrantConfiguration](#) オブジェクトの配列

必須: いいえ

keyPolicies

KMS キーのリソースポリシー設定。キーポリシーの名前の唯一の有効な値は default です。詳細については、「[デフォルトキーポリシー](#)」を参照してください。

型: 文字列間のマッピング

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDK のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go](#)

- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

Location

JSON 表現とそれに対応するスパンを通るパスとして表されるポリシー内の場所。

目次

path

ポリシー内のパス。パス要素のシーケンスとして表されます。

型: [PathElement](#) オブジェクトの配列

必須: はい

span

ポリシー内のスパン。

型: [Span](#) オブジェクト

必須: はい

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDK のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

NetworkOriginConfiguration

Amazon S3 InternetConfiguration VpcConfiguration アクセスポイントへの提案または申請の提案 VpcConfiguration マルチリージョンのアクセスポイントには適用されません。アクセスポイントにインターネットからアクセスできるようにすることも、そのアクセスポイントを介して行われるすべてのリクエストが特定の仮想プライベートクラウド (VPC) から発信されるように指定することもできます。指定できるネットワーク構成は 1 種類だけです。詳細については、「[アクセスポイントの作成](#)」を参照してください。

目次

Important

このデータ型は UNION なので、使用時または返却時に指定できるのは以下のメンバーのうちの 1 つだけです。

internetConfiguration

Amazon S3 Internet アクセスポイントまたはオリジンを使用するマルチリージョンアクセスポイントの構成。

型: [InternetConfiguration](#) オブジェクト

必須: いいえ

vpcConfiguration

Amazon S3 アクセスポイントの仮想プライベートクラウド (VPC) 構成案です。VPC 設定はマルチリージョンのアクセスポイントには適用されません。詳細については、「」を参照してください。 [VpcConfiguration](#)

型: [VpcConfiguration](#) オブジェクト

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDK のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

PathElement

ポリシーの JSON 表現を通るパス内の単一要素。

目次

Important

このデータ型は UNION なので、使用時または返却時に指定できるのは以下のメンバーのうちの 1 つだけです。

index

JSON 配列内のインデックスを参照します。

タイプ: 整数

必須: いいえ

key

JSON オブジェクト内のキーを指します。

型: 文字列

必須: いいえ

substring

JSON オブジェクト内のリテラル文字列の部分文字列を指します。

型: [Substring](#) オブジェクト

必須: いいえ

value

JSON オブジェクト内の特定のキーに関連付けられた値を参照します。

型: 文字列

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDK のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

PolicyGeneration

ポリシー生成ステータスとプロパティに関する詳細が含まれます。

目次

jobId

JobIdStartPolicyGenerationこれは操作によって返されます。GetGeneratedPolicyと併用して生成されたポリシーを取得したり、CancelPolicyGenerationと併用してポリシー生成要求をキャンセルしたりできます。JobId

型: 文字列

必須: はい

principalArn

ポリシーを生成する IAM エンティティ (ユーザーまたはロール) の ARN。

型: 文字列

Pattern: `arn:[^:]*:iam::[^:]*:(role|user)/.{1,576}`

必須: はい

startedOn

ポリシー生成が開始されたときのタイムスタンプ。

型: タイムスタンプ

必須: はい

status

ポリシー生成リクエストのステータス。

タイプ: 文字列

有効な値: IN_PROGRESS | SUCCEEDED | FAILED | CANCELED

必須: はい

completedOn

ポリシー生成が完了したときのタイムスタンプ。

型: タイムスタンプ

分位数は、確率分布を等しい確率の領域に分割したものです。

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDK のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

PolicyGenerationDetails

ポリシーが生成される IAM エンティティに関する ARN の詳細が含まれます。

目次

principalArn

ポリシーを生成する IAM エンティティ (ユーザーまたはロール) の ARN。

型: 文字列

Pattern: `arn:[^:]*:iam::[^:]*:(role|user)/.{1,576}`

必須: はい

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDK のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

Position

ポリシー内の立場。

目次

column

0 から始まるポジションの列。

型: 整数

必須: はい

line

1 から始まる位置の行。

型: 整数

必須: はい

offset

0 から始まる、位置に対応するポリシー内のオフセット。

型: 整数

必須: はい

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDK のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

RdsDbClusterSnapshotAttributeValue

手動の Amazon RDS DB クラスタースナップショット属性の値。

目次

Important

このデータ型は UNION なので、使用時または返却時に指定できるのは以下のメンバーのうちの 1 つだけです。

accountIds

手動の Amazon RDS DB クラスタースナップショットにアクセスできる AWS アカウント ID。all値が指定されている場合、Amazon RDS DB クラスタースナップショットは公開され、誰でもコピーまたは復元できます。AWS アカウント

- 設定が既存の Amazon RDS DB クラスタースナップショット用で、で指定しない場合RdsDbClusterSnapshotAttributeValue、accountIdsaccountIdsアクセスプレビューではスナップショットの既存の共有が使用されます。
- アクセスプレビューが新しいリソース用で、指定を指定しなかった場合RdsDbClusterSnapshotAttributeValue、accountIdsアクセスプレビューでは属性なしのスナップショットと見なされます。
- 既存の共有の削除を提案するにはaccountIds、に空のリストを指定できま
すaccountIds。RdsDbClusterSnapshotAttributeValue

型: 文字列の配列

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDK のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go](#)

- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

RdsDbClusterSnapshotConfiguration

Amazon RDS DB クラスタースナップショット用に提案されているアクセスコントロール設定。AWS KMS オプションの暗号化キーを指定することで、新しい Amazon RDS DB クラスタースナップショットまたは所有している Amazon RDS DB クラスタースナップショットの設定を提案できます。RdsDbClusterSnapshotAttributeValue [詳細については、「ModifyDB」を参照してください。](#) [ClusterSnapshotAttribute](#)

目次

attributes

手動 DB クラスタースナップショット属性の名前と値。手動 DB クラスタースナップショット属性は、他のユーザーが手動 DB AWS アカウント クラスタースナップショットを復元することを許可するために使用されます。AttributeName 属性マップの唯一の有効な値は restore

タイプ: [RdsDbClusterSnapshotAttributeValue](#) オブジェクトマップへの文字列です。

必須: いいえ

kmsKeyId

暗号化された Amazon RDS DB クラスタースナップショットの KMS キー識別子。KMS キー識別子は、KMS キーのキー ARN、キー ID、エイリアス ARN、またはエイリアス名です。

- 設定が既存の Amazon RDS DB クラスタースナップショット用で、を指定しない場合 kmsKeyId、または空の文字列を指定した場合、kmsKeyId アクセスプレビューでは既存のスナップショットが使用されます。
- アクセスプレビューが新しいリソース用で、を指定しなかった場合 kmsKeyId、アクセスプレビューはそのスナップショットが暗号化されていないと見なします。

型: 文字列

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDK のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)

- [AWS SDK for Go](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

RdsDbSnapshotAttributeValue

手動の Amazon RDS DB スナップショット属性の名前と値。手動 DB スナップショット属性は、他のユーザーが手動 DB AWS アカウント スナップショットを復元することを許可するために使用されます。

目次

Important

このデータ型は UNION なので、使用時または返却時に指定できるのは以下のメンバーのうちの 1 つだけです。

accountIds

手動の Amazon RDS DB スナップショットにアクセスできる AWS アカウント ID。all値が指定されている場合、Amazon RDS DB スナップショットは公開され、AWS アカウント誰でもコピーまたは復元できます。

- 設定が既存の Amazon RDS DB スナップショット用で、で指定しない場合 RdsDbSnapshotAttributeValue、accountIdsaccountIdsアクセスプレビューではスナップショットの既存の共有が使用されます。
- アクセスプレビューが新しいリソースを対象としており RdsDbSnapshotAttributeValue、accountIds in を指定しなかった場合、アクセスプレビューでは属性なしのスナップショットと見なされます。
- 既存の共有の削除を提案するにはaccountIds、に空のリストを指定できま ずaccountIds。RdsDbSnapshotAttributeValue

型: 文字列の配列

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDK のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)

- [AWS SDK for Go](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

RdsDbSnapshotConfiguration

Amazon RDS DB スナップショット用に提案されているアクセスコントロール設定。AWS KMSオプションの暗号化キーを指定することで、新しい Amazon RDS DB スナップショットまたは所有している Amazon RDS DB スナップショットの設定を提案できます。RdsDbSnapshotAttributeValue [詳細については、「ModifyDB」を参照してください。](#) [SnapshotAttribute](#)

目次

attributes

手動 DB スナップショット属性の名前と値。手動 DB スナップショット属性は、AWS アカウント他のユーザーに手動 DB スナップショットの復元を許可するために使用されます。attributeName属性マップで有効な値は restore だけです。

タイプ: [RdsDbSnapshotAttributeValue](#) オブジェクトマップへの文字列です。

必須: いいえ

kmsKeyId

暗号化された Amazon RDS DB スナップショットの KMS キー識別子。KMS キー識別子は、KMS キーのキー ARN、キー ID、エイリアス ARN、またはエイリアス名です。

- 設定が既存の Amazon RDS DB スナップショット用で、を指定しない場合kmsKeyId、または空の文字列を指定した場合、kmsKeyIdアクセスプレビューは既存のスナップショットを使用します。
- アクセスプレビューが新しいリソース用で、を指定しなかった場合kmsKeyId、アクセスプレビューはそのスナップショットが暗号化されていないと見なします。

型: 文字列

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDK のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)

- [AWS SDK for Go](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

ReasonSummary

アクセスチェックが合格または失敗した理由に関する情報が含まれます。

目次

description

アクセスチェックの結果の理由の説明。

型: 文字列

必須: いいえ

statementId

理由ステートメントの識別子。

型: 文字列

必須: いいえ

statementIndex

理由ステートメントのインデックス番号。

タイプ: 整数

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDK のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

S3AccessPointConfiguration

Amazon S3 アクセスポイントまたはバケットのマルチリージョンアクセスポイントの設定。バケットあたり最大 10 個のアクセスポイントまたはマルチリージョンアクセスポイントを提案できます。提案された Amazon S3 アクセスポイント設定が既存のバケット用である場合、アクセスプレビューでは、既存のアクセスポイントの代わりに提案されたアクセスポイント設定が使用されます。ポリシーのないアクセスポイントを提案するには、アクセスポイントポリシーとして空の文字列を指定します。詳細については、「[アクセスポイントの作成](#)」を参照してください。アクセスポイントポリシーの制限事項の詳細については、[アクセスポイントの制約と制限](#)を参照してください。。

目次

accessPointPolicy

アクセスポイントまたはマルチリージョンアクセスポイントポリシー。

型: 文字列

必須: いいえ

networkOrigin

このAmazon S3 Internet アクセスポイントに提案されVpcConfiguration、適用される予定です。VpcConfigurationマルチリージョンのアクセスポイントには適用されません。アクセスプレビューが新しいリソース用で、どちらも指定されていない場合、Internetアクセスプレビューはネットワークオリジン用に使用されます。アクセスプレビューが既存のリソースを対象としており、どちらも指定されていない場合、アクセスプレビューは既存のネットワークオリジンを使用します。

型: [NetworkOriginConfiguration](#) オブジェクト

注:このオブジェクトはユニオンです。このオブジェクトのメンバーは 1 つだけ指定または取得できます。

必須: いいえ

publicAccessBlock

この Amazon S3 S3PublicAccessBlock アクセスポイントまたはマルチリージョンアクセスポイントに適用する推奨設定。

型: [S3PublicAccessBlockConfiguration](#) オブジェクト

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDK のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

S3BucketAclGrantConfiguration

Amazon S3 バケットのアクセスコントロールリスト許可設定の提案。詳細については、「[ACL を指定する方法](#)」を参照してください。

目次

grantee

アクセス権を割り当てている被付与者。

型: [AclGrantee](#) オブジェクト

注: このオブジェクトはユニオンです。このオブジェクトのメンバーは 1 つだけ指定または取得できます。

必須: はい

permission

付与される権限。

タイプ: 文字列

有効な値: READ | WRITE | READ_ACP | WRITE_ACP | FULL_CONTROL

必須: はい

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDK のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

S3BucketConfiguration

Amazon S3 バケットのアクセス制御設定の提案。Amazon S3 バケットポリシー、バケット ACL、バケット BPA 設定、Amazon S3 アクセスポイント、およびバケットにアタッチされたマルチリージョンアクセスポイントを指定することで、新しい Amazon S3 バケットまたは所有する既存の Amazon S3 バケットの設定を提案できます。設定が既存の Amazon S3 バケット用で、Amazon S3 バケットポリシーを指定しない場合、アクセスプレビューはバケットにアタッチされた既存のポリシーを使用します。アクセスプレビューが新しいリソースに対するもので、Amazon S3 バケットポリシーを指定しない場合、アクセスプレビューではポリシーのないバケットが想定されます。既存のバケットポリシーの削除を提案するには、空の文字列を指定します。バケットポリシーの制限の詳細については、「[バケットポリシーの例](#)」を参照してください。

目次

accessPoints

バケットの Amazon S3 アクセスポイントまたはマルチリージョンアクセスポイントの構成。バケットごとに最大 10 個の新しいアクセスポイントを提案できます。

タイプ: [S3AccessPointConfiguration](#) オブジェクトマップへの文字列です。

キーパターン: `arn:[^:]*:s3:[^:]*:[^:]*:accesspoint/.*`

必須: いいえ

bucketAclGrants

Amazon S3 バケット用に提案されている ACL グラントのリスト。1 つのバケットにつき最大 100 件の ACL 付与を提案できます。提案された許可設定が既存のバケット用である場合、アクセスプレビューでは、既存の許可の代わりに提案された許可設定のリストが使用されます。それ以外の場合、アクセスプレビューはバケットの既存の許可を使用します。

型: [S3BucketAclGrantConfiguration](#) オブジェクトの配列

必須: いいえ

bucketPolicy

Amazon S3 バケット用に提案されているバケットポリシー。

型: 文字列

必須: いいえ

bucketPublicAccessBlock

Amazon S3 バケット用に提案されているブロックパブリックアクセス設定。

型: [S3PublicAccessBlockConfiguration](#) オブジェクト

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDK のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

S3ExpressDirectoryBucketConfiguration

Amazon S3 ディレクトリバケットのアクセス制御設定の提案。Amazon S3 バケットポリシーを指定することで、新しい Amazon S3 ディレクトリバケットまたは所有する既存の Amazon S3 ディレクトリバケットの設定を提案できます。設定が既存の Amazon S3 ディレクトリバケット用で、Amazon S3 バケットポリシーを指定しない場合、アクセスプレビューはディレクトリバケットにアタッチされた既存のポリシーを使用します。アクセスプレビューが新しいリソース用で、Amazon S3 バケットポリシーを指定しない場合、アクセスプレビューはポリシーのないディレクトリバケットを想定します。既存のバケットポリシーの削除を提案するには、空の文字列を指定します。Amazon S3 ディレクトリバケットポリシーの詳細については、「[S3 Express One ゾーンのディレクトリバケットポリシーの例](#)」を参照してください。

目次

bucketPolicy

Amazon S3 ディレクトリバケット用に提案されているバケットポリシー。

型: 文字列

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDK のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

S3PublicAccessBlockConfiguration

この Amazon S3 PublicAccessBlock バケットに適用する設定。提案された設定が既存の Amazon S3 バケット用で、設定が指定されていない場合、アクセスプレビューは既存の設定を使用します。提案された設定が新しいバケット用で、設定が指定されていない場合、アクセスプレビューではその設定が使用され `false`。提案された構成が新しいアクセスポイントまたはマルチリージョンアクセスポイント用で、アクセスポイントの BPA 構成が指定されていない場合、アクセスプレビューではが使用されます。 `true` 詳細については、[を参照してください](#)。

目次

ignorePublicAcls

Amazon S3 がこのバケットおよびこのバケットのオブジェクトのパブリック ACL を無視するかどうかを指定します。

タイプ: ブール

必須: はい

restrictPublicBuckets

Amazon S3 が、このバケットのパブリックバケットポリシーを制限するかどうかを指定します。

タイプ: ブール

必須: はい

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDK のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

SecretsManagerSecretConfiguration

Secrets Manager シークレットの設定。詳細については、を参照してください [CreateSecret](#)。

AWS KMSシークレットポリシーとオプションの暗号化キーを指定することで、新しいシークレットまたは所有している既存のシークレットの設定を提案できます。構成が既存のシークレット用で、シークレットポリシーを指定しない場合、アクセスプレビューではシークレット用の既存のポリシーが使用されます。アクセスプレビューが新しいリソースに対するもので、ポリシーを指定しない場合、アクセスプレビューはポリシーのないシークレットを想定します。既存のポリシーの削除を提案するには、空の文字列を指定します。提案された構成が新しいシークレット用で、KMS キー ID を指定しない場合、AWSaws/secretsmanagerアクセスプレビューでは管理対象キーが使用されません。KMS キー ID に空の文字列を指定すると、AWSアクセスプレビューではの管理キーが使用されます。AWS アカウントシークレットポリシーの制限について詳しくは、「[Quotas for](#)」を参照してください。AWS Secrets Manager。

目次

kmsKeyId

提案された ARN、キー ID、または KMS キーのエイリアス。

型: 文字列

必須: いいえ

secretPolicy

シークレットにアクセスしたり管理したりできるユーザーを定義するリソースポリシーの提案。

型: 文字列

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDK のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go](#)

- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

SnsTopicConfiguration

Amazon SNS トピック用に提案されているアクセスコントロール設定。ポリシーを指定することで、新しい Amazon SNS トピックまたは所有する既存の Amazon SNS トピックの設定を提案できます。設定が既存の Amazon SNS トピック用で、Amazon SNS ポリシーを指定しない場合、アクセスプレビューではトピックの既存の Amazon SNS ポリシーが使用されます。アクセスプレビューが新しいリソースを対象としており、ポリシーを指定しない場合、アクセスプレビューではポリシーのない Amazon SNS トピックが想定されます。既存の Amazon SNS トピックポリシーの削除を提案するには、Amazon SNS ポリシーに空の文字列を指定できます。[詳細については、「トピック」を参照してください。](#)

目次

topicPolicy

Amazon SNS トピックにアクセスできるユーザーを定義する JSON ポリシーテキスト。詳細については、Amazon SNS [開発者ガイドの「Amazon SNS アクセスコントロールのサンプルケース」](#)を参照してください。

型: 文字列

長さの制限: 最小長は 0 です。最大長は 30720 です。

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDK のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

SortCriteria

ソートに使用される基準。

目次

attributeName

ソートの基準となる属性の名前。

型: 文字列

必須: いいえ

orderBy

ソート順序 (昇順または降順)。

タイプ: 文字列

有効な値: ASC | DESC

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDK のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

Span

ポリシー内のスパン。スパンは開始位置 (含む) と終了位置 (含まない) で構成されます。

目次

end

スパンの終了位置 (除く)。

型: [Position](#) オブジェクト

必須: はい

start

スパンの開始位置 (含む)。

型: [Position](#) オブジェクト

必須: はい

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDK のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

SqsQueueConfiguration

Amazon SQS キュー用に提案されているアクセスコントロール設定。Amazon SQS ポリシーを指定することで、新しい Amazon SQS キュー、またはお客様が所有する既存の Amazon SQS キューの設定を提案できます。設定が既存の Amazon SQS キュー用で、Amazon SQS ポリシーを指定しない場合、アクセスプレビューはキューの既存の Amazon SQS ポリシーを使用します。アクセスプレビューが新しいリソースに対するもので、ポリシーを指定しない場合、アクセスプレビューはポリシーなしの Amazon SQS キューを想定します。既存の Amazon SQS キューポリシーの削除を提案するには、Amazon SQS ポリシーに空の文字列を指定します。Amazon SQS ポリシー制限の詳細については、「[ポリシーに関連するクォータ](#)」を参照してください。

目次

queuePolicy

Amazon SQS キュー用に提案されているリソースポリシー。

型: 文字列

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDK のいずれかでこの API を使用する方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

StatusReason

アナライザーの現在のステータスに関する詳細が表示されます。たとえば、アナライザーの作成に失敗すると、Failedステータスが返されます。タイプが「組織」のアナライザーの場合、この失敗は、組織のメンバーアカウントに必要なサービスにリンクされたロールの作成に問題があることが原因である可能性があります。AWS

目次

code

アナライザーの現在のステータスを示す理由コード。

タイプ: 文字列

有効な値: `AWS_SERVICE_ACCESS_DISABLED` |
`DELEGATED_ADMINISTRATOR_DEREGISTERED` | `ORGANIZATION_DELETED` |
`SERVICE_LINKED_ROLE_CREATION_FAILED`

必須: はい

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDK のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

Substring

JSON ドキュメント内のリテラル文字列の部分文字列への参照。

目次

length

サブストリングの長さ。

型: 整数

必須: はい

start

0 から始まるサブストリングの開始インデックス。

型: 整数

必須: はい

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDK のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

Trail

CloudTrail ポリシーを生成するために分析されているトレイルに関する詳細が含まれます。

目次

cloudTrailArn

トレイルの ARN を指定します。トレイル ARN の形式は `arn:aws:cloudtrail:us-east-2:123456789012:trail/MyTrail` です。

型: 文字列

Pattern: `arn:[^:]*:cloudtrail:[^:]*:[^:]*:trail/.{1,576}`

必須: はい

allRegions

想定される値は、`true` または `false` です。に設定すると `true`、IAM Access Analyzer CloudTrail はすべてのリージョンからデータを取得して分析し、ポリシーを生成します。

タイプ: ブール

必須: いいえ

regions

CloudTrail データを取得して分析してポリシーを生成するリージョンのリスト。

型: 文字列の配列

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDK のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)

- [AWS SDK for Ruby V3](#)

TrailProperties

CloudTrail ポリシーを生成するために分析されているトレイルに関する詳細が含まれます。

目次

cloudTrailArn

トレイルの ARN を指定します。トレイル ARN の形式は `arn:aws:cloudtrail:us-east-2:123456789012:trail/MyTrail` です。

型: 文字列

Pattern: `arn:[^:]*:cloudtrail:[^:]*:[^:]*:trail/.{1,576}`

必須: はい

allRegions

想定される値は、`true` または `false` です。に設定すると `true`、IAM Access Analyzer CloudTrail はすべてのリージョンからデータを取得して分析し、ポリシーを生成します。

タイプ: ブール

必須: いいえ

regions

CloudTrail データを取得して分析してポリシーを生成するリージョンのリスト。

型: 文字列の配列

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDK のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)

- [AWS SDK for Ruby V3](#)

UnusedAccessConfiguration

未使用のアクセスアナライザーに関する情報が含まれます。

目次

unusedAccessAge

未使用のアクセスに関する結果を生成する指定のアクセス期間 (日単位)。たとえば、90 日を指定した場合、アナライザーは、アナライザーの前のスキャンから 90 日以上使用されていないアクセスについて、選択した組織のアカウント内の IAM エンティティに関する結果を生成します。1~180 日の値を選択できます。

タイプ: 整数

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDK のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

UnusedAction

アクションの未使用のアクセス結果に関する情報が含まれます。IAM Access Analyzer では、1 か月あたりに分析された IAM ロールとユーザーの数に基づいて、未使用のアクセス分析に対する料金が発生します。価格設定の詳細については、「[IAM Access Analyzer pricing](#)」を参照してください。

目次

action

未使用のアクセス結果が生成されたアクションです。

型: 文字列

必須: はい

lastAccessed

アクションが最後にアクセスされた時刻。

型: タイムスタンプ

分位数は、確率分布を等しい確率の領域に分割したものです。

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDK のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

UnusedIamRoleDetails

IAM ロールの未使用のアクセス結果に関する情報が含まれます。IAM Access Analyzer では、1 か月あたりに分析された IAM ロールとユーザーの数に基づいて、未使用のアクセス分析に対する料金が発生します。価格設定の詳細については、「[IAM Access Analyzer pricing](#)」を参照してください。

目次

lastAccessed

ロールが最後にアクセスされた時刻。

型: タイムスタンプ

分位数は、確率分布を等しい確率の領域に分割したものです。

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDK のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

UnusedIamUserAccessKeyDetails

IAM ユーザーアクセスキーの未使用のアクセス結果に関する情報が含まれます。IAM Access Analyzer では、1 か月あたりに分析された IAM ロールとユーザーの数に基づいて、未使用のアクセス分析に対する料金が発生します。価格設定の詳細については、「[IAM Access Analyzer pricing](#)」を参照してください。

目次

accessKeyId

未使用のアクセス結果が生成されたアクセスキーの ID。

型: 文字列

必須: はい

lastAccessed

アクセスキーが最後にアクセスされた時刻。

型: タイムスタンプ

分位数は、確率分布を等しい確率の領域に分割したものです。

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDK のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

UnusedIamUserPasswordDetails

IAM ユーザーパスワードの未使用のアクセス結果に関する情報が含まれます。IAM Access Analyzer では、1 か月あたりに分析された IAM ロールとユーザーの数に基づいて、未使用のアクセス分析に対する料金が発生します。価格設定の詳細については、「[IAM Access Analyzer pricing](#)」を参照してください。

目次

lastAccessed

パスワードが最後にアクセスされた時刻。

型: タイムスタンプ

分位数は、確率分布を等しい確率の領域に分割したものです。

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDK のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

UnusedPermissionDetails

権限の未使用のアクセス結果に関する情報が含まれます。IAM Access Analyzer では、1 か月あたりに分析された IAM ロールとユーザーの数に基づいて、未使用のアクセス分析に対する料金が発生します。価格設定の詳細については、「[IAM Access Analyzer pricing](#)」を参照してください。

目次

serviceNamespace

AWS未使用のアクションを含むサービスの名前空間。

型: 文字列

必須: はい

actions

未使用のアクセス結果が生成された未使用アクションのリスト。

型: [UnusedAction](#) オブジェクトの配列

必須: いいえ

lastAccessed

権限が最後にアクセスされた時刻。

型: タイムスタンプ

分位数は、確率分布を等しい確率の領域に分割したものです。

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDK のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

ValidatePolicyFinding

ポリシー内の発見。調査結果はそれぞれ、ポリシーの改善に役立つ実用的な推奨事項です。

目次

findingDetails

調査結果を説明し、その対処方法に関するガイダンスを提供するローカライズされたメッセージ。

型: 文字列

必須: はい

findingType

調査結果の影響。

セキュリティ警告は、過度に許可されていると見なされるアクセスがポリシーで許可されている場合に報告されます。

ポリシーの一部が機能していないと、エラーが報告されます。

ポリシーがポリシー作成のベストプラクティスに準拠していない場合、警告はセキュリティ以外の問題を報告します。

提案は、アクセスに影響を与えないようなポリシーの文体的な改善を推奨するものです。

タイプ: 文字列

有効な値: ERROR | SECURITY_WARNING | SUGGESTION | WARNING

必須: はい

issueCode

問題コードには、この調査結果に関連する問題の識別情報が記載されています。

型: 文字列

必須: はい

learnMoreLink

調査結果のタイプに関する追加ドキュメントへのリンク。

型: 文字列

必須: はい

locations

調査結果に関連するポリシードキュメント内の場所のリスト。問題コードには、調査結果によって特定された問題の概要が記載されています。

型: [Location](#) オブジェクトの配列

必須: はい

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDK のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

ValidationExceptionField

検証例外に関する情報が含まれます。

目次

message

検証例外に関するメッセージ。

型: 文字列

必須: はい

name

検証例外の名前。

型: 文字列

必須: はい

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDK のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

VpcConfiguration

Amazon S3 アクセスポイント用に提案されている仮想プライベートクラウド (VPC) 構成。VPC 設定はマルチリージョンのアクセスポイントには適用されません。詳細については、「」を参照してください。 [VpcConfiguration](#)

目次

vpclId

このフィールドを指定すると、このアクセスポイントは指定した VPC ID からの接続のみを許可します。

型: 文字列

Pattern: vpc-([0-9a-f]){8}(([0-9a-f]){9})?

必須: はい

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDK のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

共通パラメータ

次のリストには、すべてのアクションが署名バージョン 4 リクエストにクエリ文字列で署名するために使用するパラメータを示します。アクション固有のパラメータは、アクションのトピックに示されています。Signature Version 4 の詳細については、「IAM ユーザーガイド」の「[AWS API リクエストの署名](#)」を参照してください。

Action

実行するアクション。

型: 文字列

必須: はい

Version

リクエストが想定している API バージョンである、YYYY-MM-DD 形式で表示されます。

型: 文字列

必須: はい

X-Amz-Algorithm

リクエストの署名を作成するのに使用したハッシュアルゴリズム。

条件: HTTP 認証ヘッダーではなくクエリ文字列に認証情報を含める場合は、このパラメータを指定します。

型: 文字列

有効な値: AWS4-HMAC-SHA256

必須: 条件による

X-Amz-Credential

認証情報スコープの値で、アクセスキー、日付、対象とするリージョン、リクエストしているサービス、および終了文字列 ("aws4_request") を含む文字列です。値は次の形式で表現されます。[access_key/YYYYYYYYMMDD/リージョン/サービス/aws4_request]

詳細については、「IAM ユーザーガイド」の「[署名付き AWS API リクエストの作成](#)」を参照してください。

条件: HTTP 認証ヘッダーではなくクエリ文字列に認証情報を含める場合は、このパラメータを指定します。

型: 文字列

必須: 条件による

X-Amz-Date

署名を作成するときに使用する日付です。形式は ISO 8601 基本形式の YYYYMMDD'T'HHMMSS'Z' でなければなりません。例えば、日付 20120325T120000Z は、有効な X-Amz-Date の値です。

条件: X-Amz-Date はすべてのリクエストに対してオプションです。署名リクエストで使用する日付よりも優先される日付として使用できます。ISO 8601 ベーシック形式で日付ヘッダーが指定されている場合、X-Amz-Date は必要ありません。X-Amz-Date を使用すると、常に Date ヘッダーの値よりも優先されます。詳細については、「IAM ユーザーガイド」の「[AWS API リクエスト署名の要素](#)」を参照してください。

タイプ: 文字列

必須: 条件による

X-Amz-Security-Token

AWS Security Token Service (AWS STS) への呼び出しで取得された一時的なセキュリティトークン。AWS STS の一時的なセキュリティ認証情報をサポートするサービスのリストについては、「IAM ユーザーガイド」の「[IAM と連携するAWS のサービス](#)」を参照してください。

条件: AWS STS の一時的なセキュリティ認証情報を使用する場合、セキュリティトークンを含める必要があります。

タイプ: 文字列

必須: 条件による

X-Amz-Signature

署名する文字列と派生署名キーから計算された 16 進符号化署名を指定します。

条件: HTTP 認証ヘッダーではなくクエリ文字列に認証情報を含める場合は、このパラメータを指定します。

型: 文字列

必須: 条件による

X-Amz-SignedHeaders

正規リクエストの一部として含まれていたすべての HTTP ヘッダーを指定します。署名付きヘッダーの指定に関する詳細については、「IAM ユーザーガイド」の「[署名付き AWS API リクエストの作成](#)」を参照してください。

条件: HTTP 認証ヘッダーではなくクエリ文字列に認証情報を含める場合は、このパラメータを指定します。

型: 文字列

必須: 条件による

共通エラー

このセクションでは、AWS のすべてのサービスの API アクションに共通のエラーを一覧表示しています。このサービスの API アクションに固有のエラーについては、その API アクションのトピックを参照してください。

AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権限がありません。

HTTP ステータスコード: 403

ExpiredTokenException

リクエストに含まれるセキュリティトークンの有効期限が切れています

HTTP ステータスコード: 403

IncompleteSignature

リクエストの署名が AWS 基準に適合しません。

HTTP ステータスコード: 403

InternalFailure

リクエストの処理が、不明なエラー、例外、または障害により実行できませんでした。

HTTP ステータスコード: 500

MalformedHttpRequestException

HTTP レベルでのリクエストに問題がある。例えば、コンテンツエンコーディングで指定された解凍アルゴリズムに従って本文を解凍できないなど。

HTTP ステータスコード: 400

NotAuthorized

このアクションを実行するにはアクセス許可が必要です。

HTTP ステータスコード: 401

OptInRequired

サービスを利用するためには、AWS アクセスキー ID を取得する必要があります。

HTTP ステータスコード: 403

RequestAbortedException

応答が送り返される前にリクエストが中止された場合に使用できる便利な例外 (クライアントが接続を閉じた場合など)。

HTTP ステータスコード: 400

RequestEntityTooLargeException

HTTP レベルでのリクエストに関する問題。リクエストエンティティが大きすぎる。

HTTP ステータスコード: 413

RequestExpired

リクエストの日付スタンプの 15 分以上後またはリクエストの有効期限 (署名付き URL の場合など) の 15 分以上後に、リクエストが到着しました。または、リクエストの日付スタンプが現在より 15 分以上先です。

HTTP ステータスコード: 400

RequestTimeoutException

HTTP レベルでのリクエストに問題がある。リクエストの読み取りがタイムアウトになりました。

HTTP ステータスコード: 408

ServiceUnavailable

リクエストは、サーバーの一時的障害のために実行に失敗しました。

HTTP ステータスコード: 503

ThrottlingException

リクエストは、制限が必要なために実行が拒否されました。

HTTP ステータスコード: 400

UnrecognizedClientException

指定された x.509 証明書、または AWS アクセスキー ID が見つかりません。

HTTP ステータスコード: 403

UnknownOperationException

リクエストされたアクション、またはオペレーションは無効です。アクションが正しく入力されていることを確認します。

HTTP ステータスコード: 404

ValidationError

入力が、AWS サービスで指定された制約を満たしていません。

HTTP ステータスコード: 400

翻訳は機械翻訳により提供されています。提供された翻訳内容と英語版の間で齟齬、不一致または矛盾がある場合、英語版が優先します。